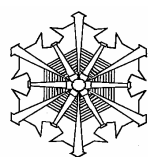


消 防 年 報

令 和 7 年 版



上野原市消防本部

は じ め に

- 1 この年報は、上野原市消防本部の消防現勢及び令和7年中の消防業務に関する諸般の事項を集録して、安全で住みよい地域づくりのために広く一般に紹介し、消防に対する関心と理解を深めていただくことを目的に編集したものです。
- 2 火災・救急等の統計については暦年、その他の諸表は年度で作成しました。

令和8年8月

上 野 原 市 消 防 本 部

目 次

庶 務 関 係

沿革	1
上野原市の位置	1 0
上野原市消防本部位置図	1 1
消防の組織	1 2
事務分掌	1 3
市予算と消防費	1 6
消防費内訳	1 6
消防予算額の推移	1 7
市の面積・世帯数・人口に対する消防力の概況	1 7
消防職員配置状況	1 8
勤務割編成状況	1 8
消防吏員階級別年齢状況	1 9
消防吏員勤続年数状況	2 0
消防吏員各種免許(状)取得状況	2 1

警 防 救 急 関 係

消防本部通信系統図	2 2
普通救命講習Ⅰ実施状況・講習会の内訳	2 3
場外離着陸場一覧	2 4

予 防 関 係

防火対象物数・立入検査状況	2 5
消防用設備等設置状況	2 6
消火・避難訓練実施状況	2 7
防火管理者状況	2 8
建築同意状況	2 9
数量別危険物(完成検査済証交付)施設状況	3 0
火薬類許可件数	3 0
火薬類の消費許可数量	3 0
危険物(完成検査済証交付)施設数及び地区別数	3 1
危険物施設各種事務処理状況	3 2
危険物施設立入検査状況	3 2
上野原市危険物安全協会	3 3～3 4

施 設 関 係

施設の状況	3 5
現有車両一覧	3 5
消防署の装備一覧	3 6
桐原出張所の装備一覧	3 7
秋山出張所の装備一覧	3 8
消防水利の状況	3 9 ~ 4 1

警 防 関 係

年別火災状況	4 2
月別火災状況総括	4 3
建物火災件数	4 4
火災覚知別出火件数	4 5
発火源別出火件数	4 5
月別火災件数	4 6
月別降水量	4 6
救急出場件数の推移	4 7
署所別月別救急出動件数	4 8
救急出場区分内訳	4 9
月別救急出場件数	4 9
時間別救急出場状況	5 0
曜日別救急出場状況	5 0
救急搬送者の傷病程度割合	5 1
地区ごとの傷病程度割合	5 1
地区別救急出場状況	5 2
居住地別、男女別救急搬送状況	5 2
年齢別搬送状況	5 3
医療機関別収容状況	5 3
救急救命士が実施した処置数	5 4
中央道救急出場分類	5 5
中央道救急搬送人員	5 5
不搬送件数内訳	5 5
救助出場状況	5 6

消 防 団 関 係

消防団員階級別定数と実員	5 7
--------------	-----

分団別地域一覧	57
ポンプ配置状況	57
在職年数別消防団員の状況	58
年齢別・階級別消防団員の状況	59

東 部 指 令 セ ン タ ー 関 係

電話別 上野原市管内からの 119 番等受信状況	60
上野原市管内からの 119 番等受信状況	61

庶務關係

沿 革

年 月	旧 上 野 原 町 の 常 備 消 防	旧 秋 山 村 の 常 備 消 防
昭和46年 4月	第1次上野原町長期総合計画策定 (上野原町消防本部、消防署設置検討)	
昭和47年 10月	上野原町消防本部並びに消防署の設置に関する条例制定(職員定数32人) 上野原町消防本部発足 初代消防長 古屋武雄氏就任 上野原町消防本部及び消防署仮庁舎建設 (上野原町上野原3,659番地)	
昭和48年 4月 5月 8月 12月	上野原町消防署発足(職員19人、消防ポンプ車1台、救急車1台配備) 初代署長 八木光夫氏就任 職員採用(1人) 職員採用(2人) 神奈川県津久井郡広域行政組合と消防相互応援協定締結 中央自動車道における消防応援協定に基づく覚書の一部を改正する覚書を締結 指令車(日産ブルーバードバン)購入配備 農協共済連より救急車(日産キャラバン)の寄贈を受け配備	
昭和49年 3月 4月 7月 12月	化学車(ニッサン780型)購入配備 職員採用(1人) 職員採用(2人) 消防ポンプ車(日産パトロール)購入配備 中央自動車道上野原緊急出入口供用開始	12月 秋山村の消防業務を都留市に委託 (消防業務に関する事務委託を公示)
昭和50年 1月 7月	林野火災用軽量小型ポンプ5基(C-1級)購入配備 初代消防長 古屋武雄氏退任 2代消防長 久島武正氏就任	4月 都留市消防署秋山出張所を設置 (職員5人、消防ポンプ車1台、救急車1台配備)
昭和51年 3月 7月 8月	上野原町消防本部・署庁舎建設予算6,724万円 消防庁舎設計及び建築確認同意 職員採用(1人)	4月 職員採用(1人) 6月 秋山出張所消防無線基地局を開局
昭和52年 4月 5月	職員採用(2人) 新消防庁舎完成(上野原町上野原758番地) 119番報知電話移転業務開始	

5月	消防庁舎落成に伴う竣工式挙行	
昭和53年		
4月	職員採用(5人)	
10月	消防訓練塔及び補助訓練塔完成 (上野原町上野原字石舟8, 447番地)	
12月	消防本部庁舎西に40立方メートル防火水槽設置	
昭和54年		
3月	(財)日本損害保険協会より救急車(トヨタハイエース)の寄贈を受け配備	4月 職員採用(1人)
5月	管理者 町長 倉田喜好氏退任 管理者 町長 加藤和男氏就任	
8月	大規模地震対策特別措置法に伴う、地震防災対策強化地域に指定 指令車(トヨタクラウンバン)購入配備	
11月	上野原町危険物安全協会設立	
12月	消防本部庁舎東に100立方メートル貯水槽設置	
昭和55年		
4月	職員採用(2人)	
昭和56年		
3月	消防ポンプ車(いすゞエルフCD-1型)購入配備	1月 職員採用(2人)
4月	第2次上野原町長期総合計画策定 (昭)56年～(平)2年 山梨県知事から町長へLPG・電気用品・火薬事務 について委譲され、消防本部で事務開始 職員採用(2人)	4月 職員採用(2人) 6月 東部消防事務連絡協議会へ加入
11月	水難救助用アルミボート(折たたみ式)及び船外機 (トーハツ)購入配備	
昭和57年		
1月	消防本部へ新車庫(軽量鉄骨)56平方メートル建設	4月 防災行政無線施設開設
3月	職員条例定数38人に改正 広報車(三菱ミニキャブ)購入、配備	
4月	初代署長 八木光夫氏退職 2代署長 水越和夫氏就任 職員採用(3人)	
7月	2代消防長 久島武正氏退任 3代消防長 坐間忠慶氏就任	
昭和58年		
2月	(財)日本損害保険協会より救急車(日産キャラバン)の寄贈を受け配備	6月 連絡車(日産サニー)購入配備
昭和59年		
3月	2代署長 水越和夫氏退任	4月 職員採用(1人)
4月	3代署長 安藤克己氏就任	11月 日本自動車工業会より救急車(日産キャラバン)の寄贈を受け配備

昭和60年	3月 3代署長 安藤克己氏退任 4月 4代署長 坐間忠慶氏就任（兼務） 職員採用（3人） 8月 日本消防協会より広報車（三菱ギャランバン）の寄贈を受け配備	
昭和61年	4月 3代消防長兼4代署長 坐間忠慶氏退任 5月 4代消防長兼5代署長 水越和夫氏就任 6月 山梨県常備消防相互応援協定が締結され、特別救助隊設置運営規定を制定	4月 職員採用（1人）
昭和62年	3月 4代消防長兼5代署長 水越和夫氏退職 4月 5代消防長 上條 皎氏就任 署長事務代理 梶野松男氏就任 職員採用（1人） 5月 管理者 町長 加藤和男氏退任 6月 管理者 町長 奈良明彦氏就任 6代署長 富田二郎氏就任	
昭和63年	3月 5代消防長 上條 皎氏退任 6代署長 富田二郎氏退任 4月 6代消防長兼7代署長 古家慶典氏就任 上野原町消防署桐原出張所開設（署員4人、消防ポンプ車1台配備） 職員採用（2人） 11月 消防ポンプ車（三菱キャンター）購入桐原出張所に配備	11月 消防ポンプ車BDI型（日産）購入配備
平成元年	3月 （社）日本自動車工業会より2B型救急車（日産キャラバン）の寄贈を受け本署に配備 6代消防長兼7代署長 古家慶典氏退職 4月 7代消防長 富田二郎氏就任 8代署長 梶野松男氏就任 緊急医療情報システム運用開始 5月 上野原町消防本部旗樹立式 6月 職員条例定数42人に改正 8月 指令車（日産セドリックバン）購入、本署に配備 9月 日本消防協会より2B型救急車（いすゞファースト）の寄贈を受け本署に配備 中央自動車道上野原インター開設に伴う中央自動車道救急業務開始 10月 職員採用（1人） 桐原出張所に2B型救急車を配備し救急業務開始	

1 1 月	職員採用(1 人)	
1 2 月	消防ポンプ車(三菱キャンター)購入、本署に配備	
平成 2 年		
4 月	甲武トンネル開通に備え、東京消防庁並びに上野原町消防本部合同による消防演習実施 東京消防庁第八方面本部において、東京消防庁と消防相互応援協定締結 (区域甲武トンネル及び栗坂トンネル付近) 東京都西多摩郡檜原村と上野原町を結ぶ甲武トンネルが開通	
平成 3 年		
1 月	職員採用(1 人)	
3 月	救助工作車(日野レンジャー)購入本署に配備	
4 月	緊急通報システム(ふれあいペンダント)業務開始 第3 次上野原町長期総合計画策定 (平) 3 年～(平) 1 2 年	
平成 4 年		
4 月	職員採用(1 人)	4 月 職員採用(1 人)
9 月	第7 回山梨県消防特別救助隊合同訓練を上野原町で実施	
平成 5 年		
3 月	7 代消防長 富田二郎氏退職 8 代署長 梶野松男氏退任	
4 月	8 代消防長 梶野松男氏就任 消防署長事務代理、近田 始氏就任	
6 月	上野原町消防本部(署)設立2 0 周年記念式典挙行	
1 0 月	広報指令車(トヨタカリブ)購入、本署に配備 2B 型救急車(日産キャラバン)購入桐原出張所に配備	
平成 6 年		
3 月	化学車(日野レンジャー)購入本署に配備	
4 月	9 代署長 近田 始氏就任 職員採用(1 人)	
6 月	職員条例定数4 3 人に改正	
平成 7 年		
3 月	8 代消防長 梶野松男氏退職	
4 月	9 代消防長 諸角 弘氏就任 職員採用(1 人) 消防本部内に救急救助係を新設	
6 月	職員条例定数4 5 人に改正 事務連絡車(トヨタマークⅡ)購入、本署に配備	8 月 (財)日本消防協会より2B 型救急車(日産キャラバン)の寄贈を受け配備
平成 8 年		
2 月	消防ポンプ車(三菱キャンター)購入、本署に配備	
3 月	9 代消防長 諸角 弘氏退任	

4月	10代消防長 竹田好晴氏就任 職員採用(1人)	
平成9年 3月 4月	通信指令台更新 2B型救急車(日産キャラバン)購入、本署に配備 2B型救急車(いすゞファーゴ)を救急指導車に用途 変更し本署に配備	
平成10年 3月 4月 5月 9月 10月	10代消防長 竹田好晴氏退職 檜原村と消防団相互応援協定締結 小菅村と消防団相互応援協定締結 11代消防長 鈴木史郎氏就任 初の救急救命士1人が誕生 津久井郡広域行政組合と消防相互応援協定の一部 改正を締結 藤野町と消防相互応援協定締結 移動体119番代表受信消防本部(富士五湖)から 転送運用開始	
平成11年 3月 11月	安田生命保険相互会社より高規格救急車(日産パラ メディック)の寄贈を受け本署に配備 救急救命士1人が誕生	
平成12年 3月 4月 8月 10月	秋山村と消防相互応援協定締結 職員採用(3人) 指令車(日産リバティー)購入、本署に配備 消防本部「救急救助係」を「警防救急係」に改める 消防署「第一部警防係・第二部警防係」を「警防第 一係」「警防第二係」に改める	
平成13年 3月 4月 12月	11代消防長 鈴木史郎氏退職 12代消防長 小俣 博氏就任 職員採用(1人) 救急救命士1人が誕生 救急救命士1人が誕生	4月 防災行政無線施設個別受信機設置
平成14年 2月 4月 5月 8月 9月	2B型救急車(トヨタ)購入、桐原出張所に配備 10代署長 溝呂木忠男氏就任 大月市消防本部と人事交流開始 平成14年度山梨県水防訓練を上野原町で実施 第17回山梨県消防特別救助隊合同訓練を上野原 町で実施 山梨県遊技業協同組合より指令車(トヨタカローラ フィールダー)の寄贈を受け本署に配備	3月 (財)日本損害保険協会よりポンプ車C D I型(いすゞ4WD)の寄贈を受け 配備

1 1 月	上野原町消防本部(署)設立30周年記念式典挙行 救急救命士1人が誕生	
平成15年 3 月 4 月	1 2 代消防長 小俣 博氏退職 1 3 代消防長 近田 始氏就任	
平成16年 4 月 5 月 1 1 月	行政機構改革で消防本部及び消防署の係制を担当 制に改め責任者としてリーダーを選任した 救急救命士1人が誕生 救急救命士1人が誕生	2 月 初の救急救命士1人が誕生 1 2 月 救急用ヘリコプター離着陸場完成
平成17年		2 月 上野原町との合併により、「都留市・ 秋山村、消防に関する事務の事務委託 に関する規約」を廃止 都留市消防署秋山出張所閉所式挙行
2 月 3 月 4 月 1 2 月	上野原町と秋山村が合併し上野原市誕生 上野原市消防本部発足 1 本部2 課(庶務課・消防課) 3 担当、1 署2 担当、2 出張所体制とし消防署に副署長を配置 職員定数53人(旧上野原町45人・旧秋山村8人) 初代消防長 近田 始氏就任 初代署長 溝呂木忠男氏就任 初代消防課長 須藤博仁氏就任、初代庶務課長 土屋秀比古氏就任 高規格救急車(トヨタハイメディック)購入、本署に配備 初代消防長 近田 始氏退職 2 代消防長 中村初男氏就任 救急救命士1人が誕生 秋山出張所にホース洗浄用水槽及び乾燥塔を建設	
平成18年 3 月 4 月 1 0 月	移動体119番直接受信業務開始 上野原市防災情報提供システム実施要綱により防災メールの配信開始 自家用発電設備を整備 山梨県地震防災訓練を上野原市で実施	
平成19年 3 月 4 月 5 月 1 0 月	2 代消防長 中村初男氏退職 3 代消防長 安藤芳夫氏就任 職員採用(2人) 消防本部「庶務課」と「消防課」を統合し「消防総務課」に改める これにより1本部1課3担当、1署2担当、2出張所体制となる 初代消防総務課長 土屋秀比古氏就任 救急救命士1人が誕生 鉄道災害時における消防機関と鉄道事業者との連携に関する協定を締結	
平成20年 3 月	高規格救急車(日産パラメディック)購入、秋山出張所に配備 初代署長 溝呂木忠男氏退職	

4月	2代署長 高橋秀樹氏就任 消防署の副署長を2人体制 職員採用(4人)
6月	救急救命士1人が誕生
8月	神奈川県企業庁より助成を受け事務連絡車(ホンダシビック)を本署に配備
平成21年	
3月	3代消防長 安藤芳夫氏退職 2代署長 高橋秀樹氏退職
4月	4代消防長 湯川清平氏就任 3代署長 久島末夫氏就任 職員採用(2人) 救急救命士1人
5月	救急救命士1人が誕生
平成22年	
4月	職員採用(2人) 救急救命士1人が誕生
平成23年	
3月	4代消防長 湯川清平氏退職
4月	5代消防長 小笠原徳喜氏就任 職員採用(4人)
平成24年	
2月	新消防庁舎基本計画策定
3月	高規格救急車(トヨタハイメディック)購入、本署に配備 5代消防長 小笠原徳喜氏退職 3代署長 久島末夫氏退職 大月市及び上野原市との梯子車配備に関する共同運用開始
4月	6代消防長 佐藤 茂氏就任 4代署長 高橋清房氏就任 職員採用(2人)
5月	特命消防庁舎建設担当設置
10月	特命指令装置整備準備担当設置
平成25年	
3月	新消防庁舎実施設計 都留市・大月市・上野原市消防指令事務協議会設置
4月	職員採用(2人)
平成26年	
3月	消防ポンプ車(日野デュトロ)購入、本署に配備 6代消防長 佐藤 茂氏退職(再任用) 4代署長 高橋清房氏退職
4月	沢松防災広場臨時ヘリポート完成 5代署長 磯部 忠氏就任
4月	職員採用(1人) 救急救命士
12月	平成26年度山梨県水防訓練を上野原市で実施 消防ポンプ車(日野デュトロ)購入、桐原出張所に配備
平成27年	

3月	山梨県東部指令センター運用開始(都留市、大月市共同運用) 新消防庁舎訓練塔竣工式挙行(松留)
4月	6代消防長 佐藤 茂氏退職 7代消防長 水越 右士氏就任 6代署長 清水 正司氏就任 甲府地区消防本部との人事交流 職員採用(1人) 救急救命士1人が誕生
12月	高規格救急車(トヨタハイメディック)購入、本署に配備
平成28年	
3月	7代消防長 水越 右士氏退職
4月	8代消防長 磯部 忠氏就任 職員採用(1人)救急救命士
10月	日本消防協会消防団員等福祉共済推進事業により消防団車両(スバルフォレスター)寄贈を受け本署に配備
平成29年	
2月	救助工作車(日野レンジャー)購入、本署に配備
4月	職員採用(1人) 救急救命士1人誕生
10月	職員採用(2人)
平成30年	
3月	高規格救急車(トヨタハイメディック)購入、桐原出張所に配備 軽指令車(ダイハツハイゼット)を購入、本署に配備
4月	職員採用(3人)女性職員1人初採用 救急救命士1人誕生
平成31年	
3月	水槽付ポンプ自動車(CAFS装置付 日野デュトロ)購入、本署に配備 8代消防長 磯部 忠氏退職(9代消防長として再任用) 6代署長 清水 正司氏退職(消防司令補として再任用)
4月	7代署長 小俣 直人氏就任 職員採用(3人)救急救命士1人 救急救命士1人誕生
令和元年	
10月	高規格救急車(トヨタハイメディック)購入、秋山出張所に配備
令和2年	
3月	9代消防長 磯部 忠氏退職(消防司令補として再任用) 7代署長 小俣 直人氏退職
4月	職員採用(5人)救急救命士2人、女性職員1人採用 10代消防長 小林 輝氏就任 8代署長 市川 浩氏就任
4月	救急救命士1人誕生
12月	化学車(日野レンジャー)購入、本署に配備
令和3年	
3月	10代消防長 小林 輝氏退職(消防司令補として再任用)

4月	8代署長 市川 浩氏退職（消防司令補として再任用） 職員採用（1人） 11代消防長 鷹取 芳弘氏就任 9代署長 古家 昭浩氏就任
5月	救急救命士1人誕生
令和4年	
4月	職員採用（2人）
5月	救急救命士1人誕生
令和5年	
3月	11代消防長 鷹取 芳弘氏退職 9代署長 古家 昭浩氏退職（消防司令補として再任用）
4月	職員条例定数57人に改正 職員採用（5人）救急救命士1人 12代消防長 杉本 桂司氏就任 10代署長 石田 豊氏就任
5月	救急救命士1人誕生
7月	デリカ購入、本署に配備
10月	経験者職員採用（1人）
令和6年	
3月	12代消防長 杉本 桂司氏退任
4月	13代消防長 岡本 功氏就任 職員採用（3人）救急救命士2人
5月	救急救命士1人誕生
令和7年	
3月	13代消防長 岡本 功氏退任
4月	14代消防長 曾根 剛氏就任 職員採用（4人）
5月	救急救命士1人誕生
10月	職員条例定数70人に改正 職員採用（1人）
12月	指令車（エクリプスクロス）事務連絡車（エクリプスクロス）購入、本署に配備
令和8年	
1月	経験者職員採用（3人） 消防ポンプ車購入、秋山出張所に配備
3月	総務省消防庁無償貸与により消防団車両（日産キャラバン）を本署に配備
4月	職員採用（7人）
5月	救急救命士1人誕生

上野原市の位置



上野原市は、平成17年2月13日に旧上野原町と旧秋山村との町村合併により誕生しました。

山梨県東端の県境に位置し、首都圏から山梨県への玄関口にあたり、周囲は都留市、大月市、小菅村、檜原村(東京都)、相模原市(神奈川県)に接する、総面積170.57km²、人口20,604人の市です。

※ 人口は住民基本台帳及び外国人登録法に基づく人口 令和8年4月1日現在

経緯度

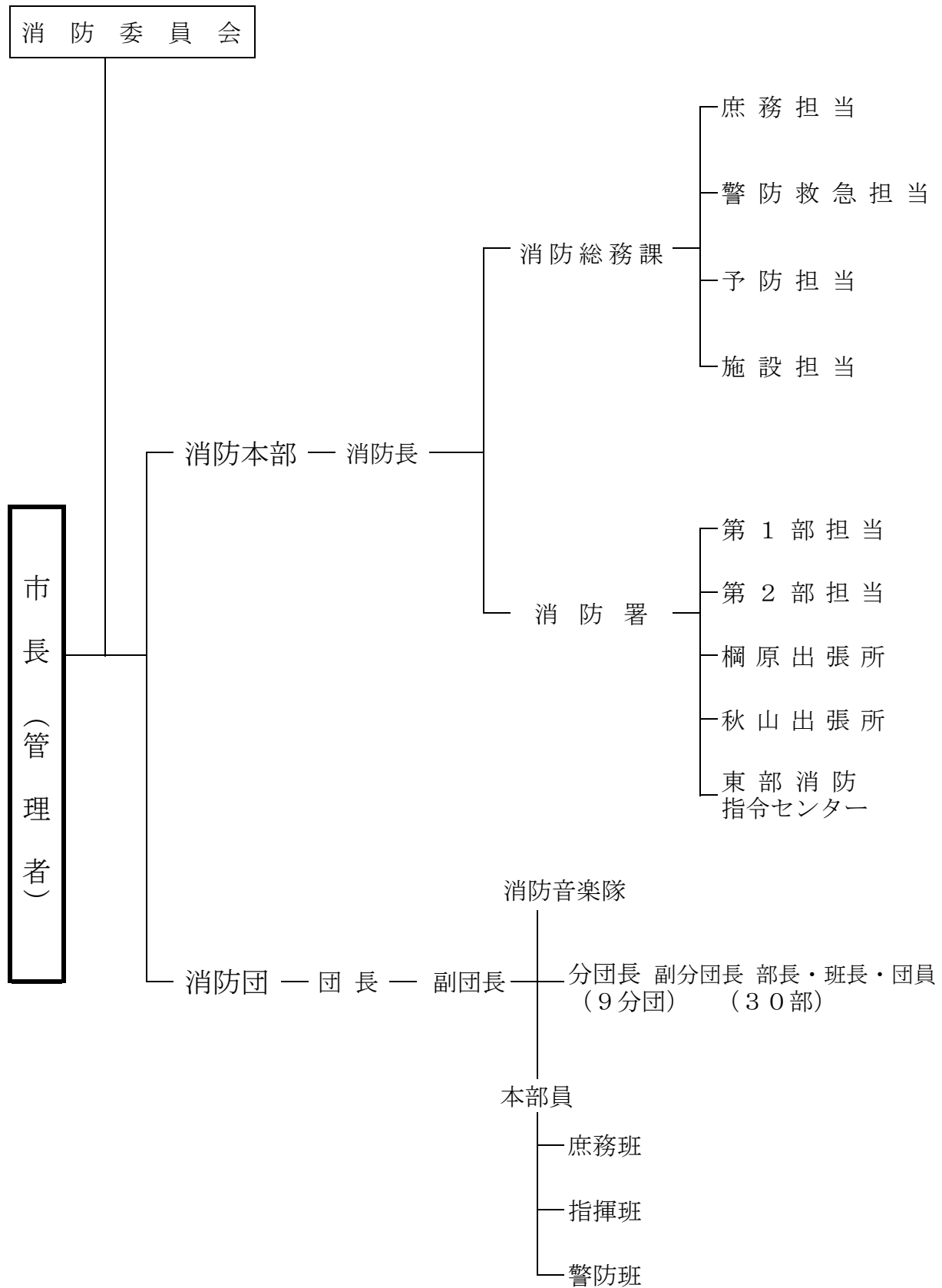
東経 139度10分

北緯 35度62分

上野原市消防本部位置図



消 防 の 組 織



事 務 分 掌

消 防 本 部	消 防 総 務 課	庶 務 担 当
		ア 消防の組織及び総合企画に関すること。
		イ 秘書事務及び機密事務に関すること。
		ウ 渉外に関すること。
		エ 公印の管理に関すること。
		オ 文書の収発及び統計に関すること。
		カ 予算、決算等の経理に関すること。
		キ 職員の任免、分限懲戒、服務、研修、福利厚生その他人事に関すること。
		ク 職員の教養に関すること。
		ケ 広報及び広聴に関すること。
		コ 物品の調達、検収及び管理に関すること。
		サ 消防委員会及び消防職員委員会に関すること。
		シ 庁舎の維持管理に関すること。
		ス その他庶務に関すること。
		セ 他の担当に属さないこと。
		ソ 消防団の組織、機構に関すること。
		タ 消防団行事の予定及び企画に関すること。
		チ 団員の公務災害補償及び福祉共済に関すること。
		ツ 婦人消防隊及び婦人消防隊正副隊長会に関すること。
		テ 消防協会、消防協力会に関すること。
		ト その他消防団等に関すること。
		警 防 救 急 担 当
		ア 災害予防の総合計画に関すること。
		イ 水火災等の防ぎょ及び研究に関すること。
		ウ 消防、警防計画及び水防計画に関すること。
		エ 救急救助技術の研究に関すること。
		オ ヘリコプターに関すること。
		カ 災害派遣、応援協定に関すること。
		キ 消防職員、消防団員等の訓練に関すること。
		ク 消防通信、防災無線に関すること。
		ケ 応急手当の普及啓発活動に関すること。
		コ 火災調査及びり災証明に関すること。
		サ その他警防救急等に関すること。
		予 防 担 当
		ア 火災予防に関すること。
		イ 予防査察及び立入検査に関すること。
		ウ 危険物等の規制及び火災予防に関すること。
		エ 建築確認の同意等に関すること。
		オ 火薬類の譲渡、消費等の許可に関すること
		カ 電気用品の安全表示監視等に関すること。
		キ 液化石油ガス設備等の届出受理事務に関すること。
		ク ガス用品販売事業者及び液化石油ガス器具等販売事業者への立入検査等事務に関すること。
		ケ 防火対象物等の違反処理に関すること。
		コ 火災予防条例等の予防関係の届出事務に関すること。

消 防 本 部	消 防	サ 危険物安全協会、防火委員会その他火災予防関係団体に関すること。
		シ 消防用設備の検査及び点検に関すること。
		ス その他予防に関すること。
	防	施 設 担 当
		ア 庁舎の整備に関すること。
	総 務 課	イ 消防団の施設、設備及び車両の維持管理に関すること。
		ウ 消防施設の整備に関すること。
		エ 通信消防指令施設整備に関すること。
		オ 防災無線に関すること。
		カ 指令業務共同運用に関すること。
		キ その他通信消防指令施設等に関すること。

消 防 本 部	消 防 署	第 1 部 担 当 ・ 第 2 部 担 当
		ア 水火災等の業務及びその他の災害に関すること。
		イ 職員の教養、訓練及び服務に関すること。
		ウ 地利、水利に関すること。
		エ 消防機械器具の運用管理に関すること。
		オ 消防職員、消防団員等の訓練に関すること。
		カ 上野原市火災予防条例等の警防関係の届出事務に関すること。
		キ 火災調査及びその他の災害調査に関すること。
		ク 警防・水防計画に関すること。
		ケ 消防統計に関すること。
		コ その他警防に関すること。
		サ 庶務に関すること。
		シ 救急業務に関すること。
		ス 救助業務に関すること。
		セ 応急手当の普及啓発活動に関すること。
		ソ 救急・救助訓練に関すること。
		タ 救急・救助資機材に関すること。
		チ 救急・救助報告に関すること。
		ツ その他救急・救助に関すること。
		テ 災害の予防対策及び指導に関すること。
		ト 予防査察及び立入検査に関すること。
		ナ 建築確認の同意等に関すること。
		ニ 火災予防条例等の予防関係の届出事務に関すること。
		ヌ その他予防に関すること。
		ネ 消防通信、消防信号及び防災無線の運用に関すること。
		ノ 火災警報に関すること。
		ハ 気象観測に関すること。
		ヒ 通信施設の維持運用に関すること。
		フ 通信技術の訓練指導に関すること。
		ヘ その他気象、通信に関すること。

消 防 本 部	消 防 署	櫛原出張所・秋山出張所
		ア 水火災等の業務及びその他の災害に関すること。
		イ 地利、水利に関すること。
		ウ 消防機械器具の運用管理に関すること。
		エ 救急業務に関すること。
		オ 救助業務に関すること。
		カ 消防職員、消防団員等の訓練に関すること。
		キ 消防通信及び消防信号に関すること。
		ク 火災予防条例等の届出事務（別に定める）に関すること。
		ケ 応急手当の普及啓発活動に関すること。
		コ 火災調査及びその他の災害の調査に関すること。
		サ 予防査察及び立入検査に関すること。
		シ 出張所の庶務に関すること。
		ス 庁舎及び付属施設の保全に関すること。
		セ その他特に命ぜられたこと。

都留市・大月市・上野原市	消防指令事務協議会	山梨県東部消防指令センター
		1 緊急通報の受付及び事案の運用に関すること。
		2 消防通信指令の統制に関すること。
		3 指令センター及び通信指令システムの維持管理に関すること。
		4 指令事務協議会に関すること。

市 予 算 と 消 防 費

(単位：千円)

区 分 年 度	一般会計当初予算 (A)	消防費当初予算 (B)	B / A
平成 3 0 年度	10,282,764	657,652	6.4%
平成 3 1 年度	10,070,313	627,919	6.2%
令和 2 年度	10,444,322	678,278	6.5%
令和 3 年度	10,187,307	556,605	5.5%
令和 4 年度	10,819,770	618,318	5.7%
令和 5 年度	11,163,728	705,514	6.3%
令和 6 年度	11,276,651	648,419	5.8%
令和 7 年度	10,740,859	722,130	6.7%
令和 8 年度	11,544,552	686,731	5.9%

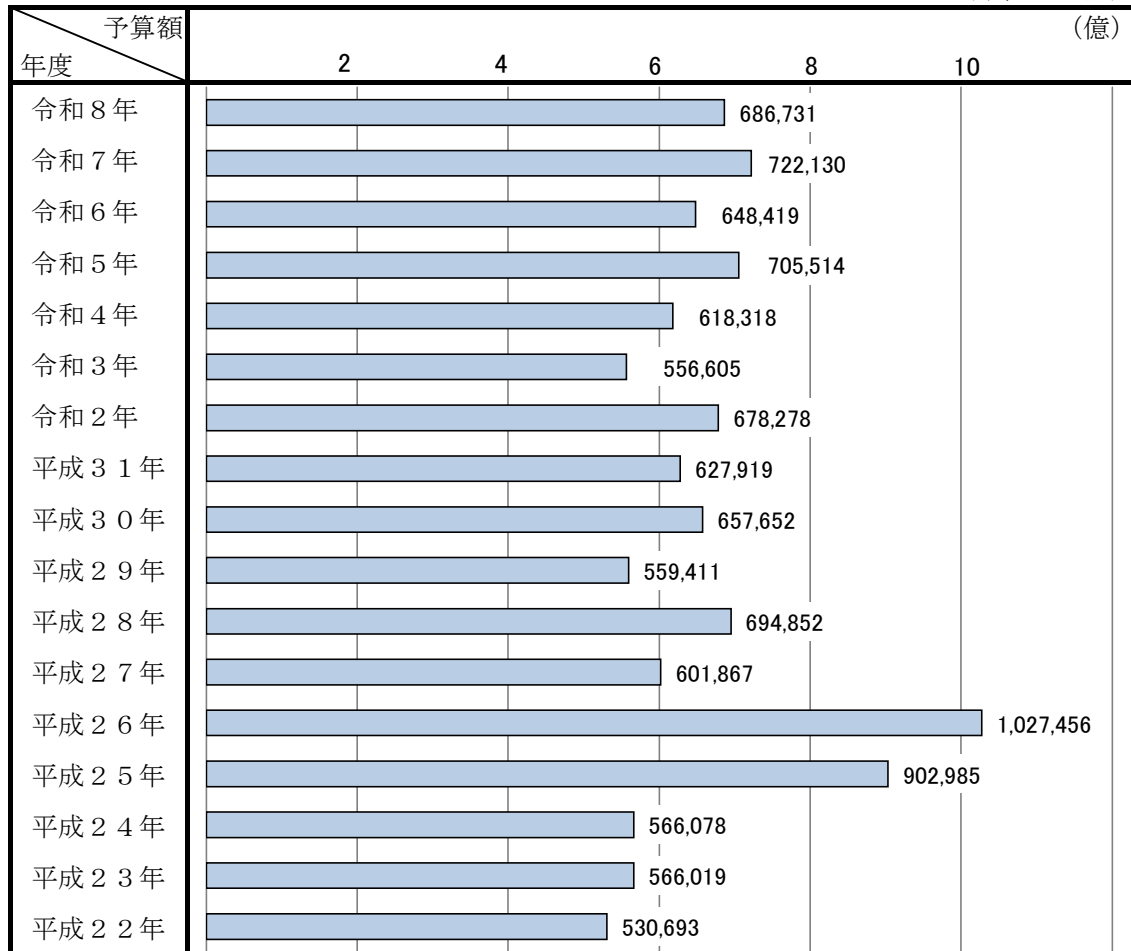
消 防 費 内 訳

(単位：千円)

目	本 年 度 (令和8年度) 予 算 額	前 年 度 (令和7年度) 予 算 額	比 較	本 年 度 (令 和 8 年 度) 予 算			
				特 定 財 源			一般財源
				国県支出金	地 方 債	そ の 他	
常備消防費	591,802	544,238	47,564	1,161	8,700	8,382	573,559
非常備 消防費	66,612	61,608	5,004	1,466		8,840	56,306
消防施設費	28,317	116,284	△87,967		25,800		2,517
計	686,731	722,130	△ 35,399	2,627	34,500	17,222	632,382

消 防 予 算 額 の 推 移

(単位：千円)



市の面積・世帯数・人口に対する消防力の概況

(R8. 4. 1)

区 分 地区名	消防団ポンプ 1 台当り			消防団員 1 人当り		消防吏員 1 人当り	
	面 積 (km ²)	人 口 (人)	世 帯 (戸)	人 口 (人)	世 帯 (戸)	人 口 (人)	世 帯 (戸)
大 目	1. 78	173. 0	96. 3	16. 1	9. 0	332. 3	161. 6
甲 東	2. 56	158. 6	71. 8	9. 1	4. 1		
巖	2. 15	1, 044. 2	487. 0	76. 8	35. 8		
大 鶴	1. 20	262. 7	130. 7	21. 3	10. 6		
島 田	2. 97	585. 3	289. 3	30. 3	15. 0		
上 野 原	1. 28	1, 112. 1	545. 6	84. 7	41. 6		
桐 原	2. 95	110. 3	56. 3	9. 1	4. 6		
西 原	6. 11	141. 3	81. 7	8. 5	4. 9		
秋 山	3. 00	157. 6	71. 9	10. 1	4. 6		
市 全 体	2. 75	447. 9	217. 8	31. 3	15. 2		

消防職員配置状況

(R8. 4. 1)

階 級 区 分		合 計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員
条例定数		70							
実 員		64							
消防本部	小 計	1	1	0	0	0	0	0	0
	消 防 長	1	1						
消防総務課	小 計	22	0	4	4	1	1	10	2
	課 長	1		1					
	消防総務課	21		3	4	1	1	10	2
消防署	小 計	41	0	9	3	9	8	12	0
	署 長	1		1					
	副 署 長	2		2					
	第 1 部 担 当	15		1	1	3	4	6	
	第 2 部 担 当	13		1	1	3	3	5	
	桐原出張所	2		2					
	秋山出張所	2		1			1		
	消 防 署	2			1	1			
山梨県東部 消防指令センター		4		1		2		1	

勤 務 割 編 成 状 況

階 級 区 分		合 計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員
計		64	1	13	7	10	10	21	2
日 勤		22	1	5	4	2		8	2
1 部		17		2	1	3	4	7	
2 部		17		2	2	3	4	6	
桐原出張所	1 部	0							
	2 部	2		2					
秋山出張所	1 部	2		1			1		
	2 部	0							
消防防災航空隊		0							
人事交流職員		0							
山梨県東部 消防指令センター		4		1		2	1		

階級別年齢状況

(R8. 4. 1)

階級年	合 計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
合計人員	62	1	13	7	10	10	21
平均年齢	35.7	58	53.4	43.1	38.7	28.9	23.0
18 歳	2						2
19 歳	0						
20 歳	0						
21 歳	2						2
22 歳	3						3
23 歳	1						1
24 歳	1						1
25 歳	3					1	2
26 歳	5					1	4
27 歳	4					2	2
28 歳	1					1	
29 歳	3					1	2
30 歳	2					1	1
31 歳	2					1	1
32 歳	2				1	1	
33 歳	0						
34 歳	2				1	1	
35 歳	1				1		
36 歳	2				2		
37 歳	4		1	2	1		
38 歳	1				1		
39 歳	2			1	1		
40 歳	3			2	1		
41 歳	0						
42 歳	0						
43 歳	0						
44 歳	0						
45 歳	0						
46 歳	0						
47 歳	1			1			
48 歳	0						
49 歳	2		2				
50 歳	1		1				
51 歳	0						
52 歳	1		1				
53 歳	0						
54 歳	1		1				
55 歳	0						
56 歳	1		1				
57 歳	3		3				
58 歳	2	1	1				
59 歳	2		2				
60 歳	1				1		
61 歳	0						
62 歳	1			1			
63 歳	0						
64 歳	0						

消 防 吏 員 勤 続 年 数 状 況

(R8. 4. 1)

階級 年数	合 計	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
合計人員	62	1	13	7	10	10	21
新任	11				2	1	8
1年	4	1					3
2年	3						3
3年	5						5
4年	1						1
5年	1						1
6年	4					4	
7年	1					1	
8年	3					3	
9年	0						
10年	1					1	
11年	1				1		
12年	0						
13年	2				2		
14年	1				1		
15年	1				1		
16年	2				2		
17年	1			1			
18年	4			4			
19年	1		1				
20年	0						
21年	0						
22年	0						
23年	0						
24年	0						
25年	1			1			
26年	2		2				
27年	0						
28年	0						
29年	0						
30年	1		1				
31年	1		1				
32年	1		1				
33年	0						
34年	0						
35年	1		1				
36年	2		2				
37年	0						
38年	2		1	1			
39年	0						
40年	1		1				
41年	2		2				
42年	1				1		
43年	0						
44年	0						

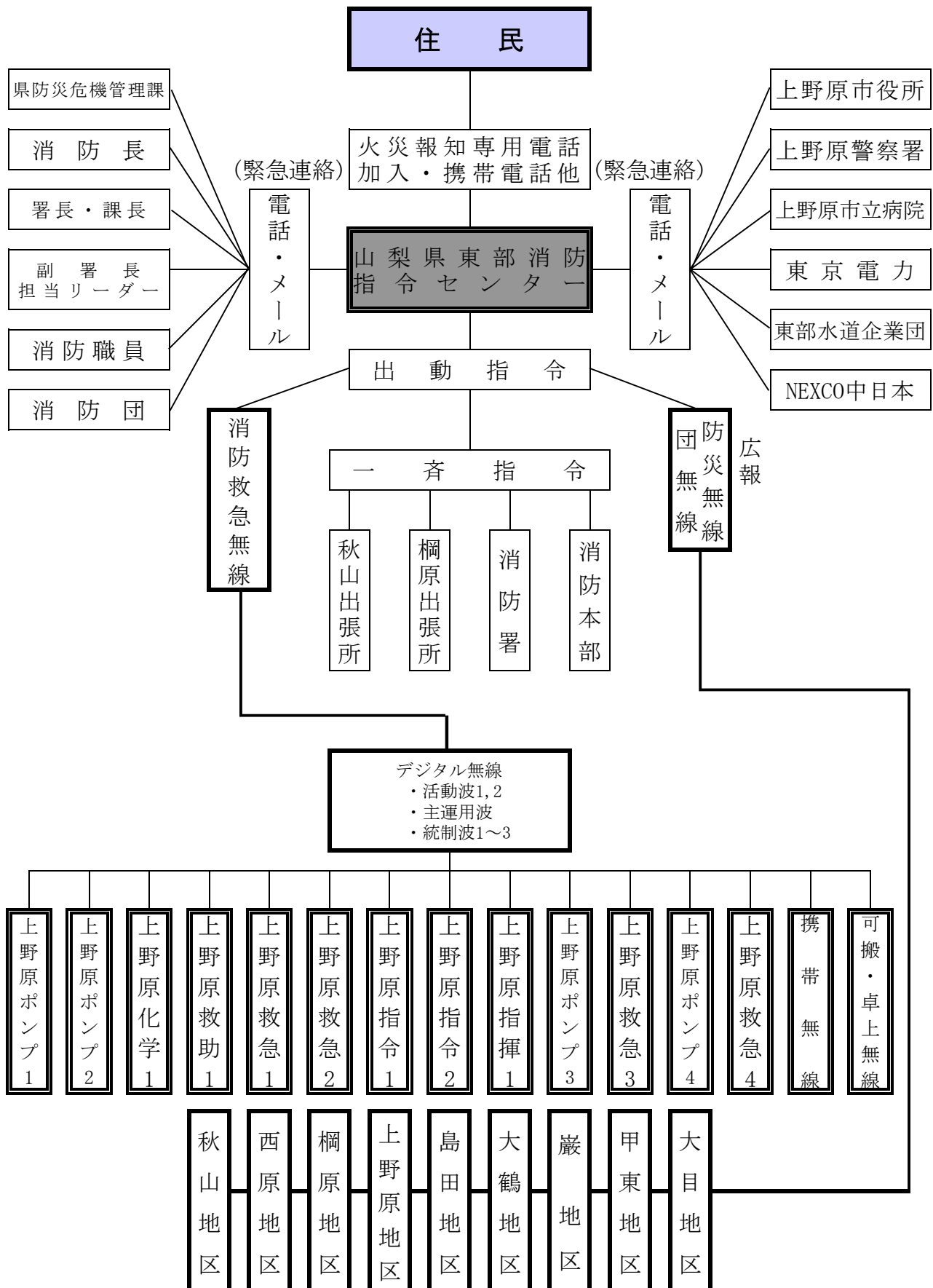
各種免許（状）取得状況

(R8. 4. 1)

免許・資格種類		階級	合計	司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士
運転免許	大型		43		13	7	10	8	5
	中型		26	1	11	6	5	1	2
	準中型		30				4	8	18
	普通		60	1	12	7	9	10	21
	自動二輪車		27		7	2	6	5	7
自動車整備士									
危険物取扱者	乙種三類		4		2	1		1	
	乙種四類		20		4	4	7	4	1
	乙種五類		3		2			1	
	乙種六類		2		1	1			
消防設備士	甲種四類								
	乙種四類								
	乙種五類								
	乙種六類		4		2	1	1		
	乙種七類								
応急手当指導員講習修了者			50		13	7	10	10	10
救急隊員資格者	救急救命士		22		4	5	7	3	3
	標準課程修了者		42		6	5	8	10	13
	Ⅱ課程修了者		4		3		1		
	指導救命士		3		2	1			
予防技術検定	防火査察		12		2	1	4	4	1
	消防用設備		2		1			1	
	危険物		6		1	2	1	2	
ボイラー技士		二級							
		小型							
		小規模	1				1		
特殊無線技士（第一級）			4		3				1
特殊無線技士（第二級）			53		13	7	10	10	13
第4級アマチュア無線技士			7	1	5	1			
ガス溶接技士			1				1		
アーク溶接技士			1		1				
海技免状（小型船舶操縦士）			23		8	6	6	2	1
小型移動式クレーン			38		13	7	9	7	2
玉掛け技能士			38		13	7	9	7	2
小型特殊車両系建設機械運転者			8		2	2	3	1	

警防救急關係

消 防 本 部 通 信 系 統 図



救命講習会(普通救命講習Ⅰ)実施状況

月	日	受講対象	講 習 内 容	講習時間 (分)	受講者数(人)		
					男	女	合計
5	24	一般	・救命の連鎖と住民の役割 ・心肺蘇生法 胸骨圧迫(実技) 人工呼吸(講義) ・AEDの使用法(実技) ・異物除去法(講義) ・止血法(講義)	180	0	8	8
6	19	子育て支援担当		180	0	10	10
6	20	子育て支援担当		180	0	10	10
7	26	子育て支援担当		180	2	6	8
7	29	上野原高校インターシップ		180	3	0	3
9	27	一般		180	2	5	7
11	22	一般		180	6	1	7
3	28	一般		180	0	3	3
		8 回		1440	13	43	56

講習会の内訳

受講者累計	男性	13人	女性	43人	合計	56人
一回の平均受講者	男性	1.6人	女性	5.4人	平均	7.0人

消防防災ヘリコプター・ドクターヘリコプター離着陸施設

消防防災ヘリコプターは山岳救助や水難救助、山火事の消火活動、航空救急及び、行方不明者の捜索等に用いられています。

また、ドクターヘリは、医療機器を装備し医薬品を搭載した機内に医師と看護師が乗り、指定された離着陸場に着陸してその場で人が人や急病人を治療し、病状に適した医療施設へ患者さんを搬送します。

	名 称	種 別
①	桂川新田地区近隣公園(レクリエーション広場)	防・山
②	上野原中学校グラウンド	防・山
③	秋山救急用ヘリポート	防・山
④	談合坂サービスエリア(上り)ヘリポート	防・山
⑤	桂川新田地区近隣公園(スポーツ広場)	防
⑥	秋山観光スポーツ広場	防・山
⑦	ヒロ牧場	防・山
⑧	沢松防災広場	防・山
⑨	メイプルポイントGC管理棟セナリ	防・山
⑩	日大明誠高校グラウンド	山
⑪	上野原市立西小学校グラウンド	山
⑫	旧桐原小学校グラウンド	山
⑬	旧西原小学校グラウンド	山
⑭	桂川球場	山
⑮	旧平和中学校グラウンド	山
⑯	びりゅう館広場	山

種別の説明 防・・・山梨県消防防災ヘリ離着陸場指定
山・・・山梨県ドクターヘリ離着陸場指定



予防関係

防火対象物数・立入検査状況

種 別 項 目			防 火 対 象 物 数 (150㎡以上)				立 入 検 査	消防用設備又は特殊消防用設備等設置検査		
			合 計	地上 未 満 5 階	地上 以 上 5 階	地下 1 階		検査 要 する 対 象 物	検査 届 出 対 象 物	検査 済
合 計			747	735	12	22	38	887	19	14
1	イ	映 画 館	2	2				2		
	ロ	集 会 場	13	13				30		
2	ロ	遊 技 場	3	3			1	3		
	ニ	カラオケボックス	1	1			1	1		
3	ロ	飲 食 店	15	15			1	36		
4		百 貨 店 ・ 店 舗	26	26			8	35	1	1
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル	15	14	1		2	64	1	1
	ロ	共 同 住 宅	168	165	3		1	160	1	
6	イ	病 院 ・ 診 療 所	13	13		2		16		
	ロ	福 祉 施 設 等	9	9			2	9	2	2
	ハ	保育園・老人デイサービス等	12	12			2	13	1	1
	ニ	幼 稚 園	3	3			3	4	1	
7		学 校 (小・中・高・大)	44	40	4	1	2	44	1	1
8		図 書 館	2	2				2		
9	ロ	公 衆 浴 場	1	1		1	1	1		
10		駅 舎	1	1		1		3		
11		神 社 ・ 寺 院	11	11				12		
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	181	179	2	6	7	192	6	3
13	イ	自 動 車 車 庫	7	7				5		
13	ロ	特 殊 格 納 庫	0							
14		倉 庫	40	40				50		1
15		前項に該当しない事業所	89	88	1	7	4	113	3	2
16	イ	複合用途防火対象物	66	65	1	4	3	67	2	2
	ロ	イ、以外の複合用途	25	25				25		

消 防 用 設 備 等 設 置 状 況

項 目 設 備 別			自 動 火 災 報 知 設 備	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	屋 内 消 火 栓 設 備	漏 電 火 災 警 報 器	水 噴 霧 消 火 設 備 等	非 常 警 報 設 備	屋 外 消 火 栓 設 備	避 難 器 具	誘 導 灯	動 力 消 防 ポン プ	連 結 散 水 設 備	連 結 送 水 管
合 計			284	13	103	18	7	103	7	73	332	5	1	4
1	イ	映 画 館						2						
	ロ	集 会 場	5					4			25			
2	ロ	遊 技 場	3					2			3			
	ニ	カラオケボックス	1							1	1			
3	ロ	飲 食 店	4					3		2	28			
4		百貨店・店舗	13		4					1	30			
5	イ	旅館・ホテル	11		1	4		6		2	13			
	ロ	共 同 住 宅	12		1	5		7		31	4			
6	イ	病院・診療所	8	2	1	1		5		1	16			
	ロ	福祉施設等	9	8				2		1	9			
	ハ	保育園・老人デイサービス等	7		2						13			
	ニ	幼 稚 園	3		1	1					4			
7		学校(小・中・高・大)	38		28		2	28		5	29			1
8		図 書 館	1			1		1			1			
9	ロ	公 衆 浴 場	1		1			1			1			
11		神 社 ・ 寺 院									3			
12	イ	工場・作業場	95		42	2		4	4	3	43	4		2
13	イ	自動車車庫	3				3				1			
13	ロ	特殊格納庫												
14		倉 庫	10		1	1		1	2		4	1		
15		前項に該当しない事業所	31		9	2	2	18		4	45			
16	イ	複合用途防火対象物	27	3	12			18	1	17	59		1	1
	ロ	イ、以外の複合用途	2			1		1		5				

消火・避難訓練実施状況

種 別 項 目			訓練実施対象物数			
			消火訓練		避難訓練	
			1回 実施	2回以上 実施	1回 実施	2回以上 実施
合 計			20	8	20	13
1	イ	映 画 館				
	ロ	集 会 場				
2	ロ	遊 技 場				
	ニ	カラオケボックス				
3	ロ	飲 食 店				
4		百 貨 店 ・ 店 舗	4	2	4	2
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル		1		1
	ロ	共 同 住 宅				
6	イ	病 院 ・ 診 療 所		1		2
	ロ	福 祉 施 設 等	1	1	1	
	ハ	保育園・老人デイサービス等	1	1		3
	ニ	幼 稚 園			1	
7		学 校 (小・中・高・大)				1
8		図 書 館				
9	ロ	公 衆 浴 場				
11		神 社 ・ 寺 院				
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	9		10	1
13	イ	自 動 車 車 庫				
13	ロ	特 殊 格 納 庫				
14		倉 庫	1			
15		前項に該当しない事業所	1	1	1	1
16	イ	複合用途防火対象物	3	1	3	2
	ロ	イ、以外の複合用途				

防 火 管 理 者 状 況

種 別 項 目			防火対象物数		防火管理者 届 出 済 数		消 防 計 画 届 出 済 数	
			甲 種	乙 種	甲 種	乙 種	甲 種	乙 種
合 計			135	58	131	35	130	35
1	イ	映 画 館	1	1	1	1	1	1
	ロ	集 会 場	6	17	5	2	5	2
2	ロ	遊 技 場	3		3		3	
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス						
3	ロ	飲 食 店	5	16	4	12	4	12
4		百 貨 店 ・ 店 舗	14	8	13	8	13	8
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル	6	9	6	7	6	7
	ロ	共 同 住 宅	2		2		2	
6	イ	病 院 ・ 診 療 所	4		4		4	
	ロ	福 祉 施 設 等	9		9		9	
	ハ	保育園・老人デイサービス等	6		6		6	
	ニ	幼 稚 園	3		3		3	
7		学 校 (小 ・ 中 ・ 高 ・ 大)	12		12		12	
8		図 書 館	1	1	1		1	
9	ロ	公 衆 浴 場	1		1		1	
11		神 社 ・ 寺 院	2		2		2	
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	21		21		21	
13	イ	自 動 車 車 庫						
13	ロ	特 殊 格 納 庫						
14		倉 庫						
15		前項に該当しない事業所	11	4	10	4	10	4
16	イ	複合用途防火対象物	28	2	28	1	27	1
	ロ	イ、以外の複合用途						

建 築 同 意 状 況

種 別 項 目			同 意					不 同 意				
			合 計	新 築	増 築	改 築	そ の 他	合 計	新 築	増 築	改 築	そ の 他
合 計			11	4	7							
1	イ	映 画 館										
	ロ	集 会 場										
2	ロ	遊 技 場										
	ニ	カラオケボックス										
3	ロ	飲 食 店										
4		百 貨 店 ・ 店 舗										
5	イ	旅 館 ・ ホ テ ル										
	ロ	共 同 住 宅	1	1								
6	イ	病 院 ・ 診 療 所										
	ロ	福 祉 施 設 等	2	1	1							
	ハ	保育園・老人デイサービス等										
	ニ	幼 稚 園										
7		学校(小・中・高・大)	1		1							
8		図 書 館										
9	ロ	公 衆 浴 場										
10		駅 舎										
11		神 社 ・ 寺 院										
12	イ	工 場 ・ 作 業 場	3		3							
13	イ	自 動 車 車 庫										
13	ロ	特 殊 格 納 庫										
14		倉 庫	2		2							
15		前項に該当しない事業所										
16	イ	複合用途防火対象物										
	ロ	イ、以外の複合用途										
		長屋・住宅・その他	2	2								

数量別危険物（完成検査済証交付）施設状況

製造所 等の別 区分	合 計	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所			
			屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	一 般	第 一 種 販 売	第 二 種 販 売
合 計	112	4	23	5	1	26	0	13	3	23	13	1	
5 倍 以 下	59	1	11		1	21		13	1	8	2	1	
5 倍 を 超 え 10 倍 以 下	17		3	1		4			2	1	6		
10 倍 を 超 え 50 倍 以 下	20	3	4	4		1				4	4		
50 倍 を 超 え 100 倍 以 下	5		2							2	1		
100 倍 を 超 え 150 倍 以 下	5		3							2			
150 倍 を 超 え 200 倍 以 下	1									1			
200 倍 を 超 え 1000 倍 以 下	5									5			

火 薬 類 許 可 件 数

月 別 許可種類	合 計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
合 計	5	0	0	0	2	1	2	0	0	0	0	0	0
譲 受 許 可													
消 費 許 可	5				2	1	2						
譲受消費許可													

火 薬 類 の 消 費 許 可 数 量

月 別 種 類	合 計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
爆 薬 (kg)													
火 薬 (kg)													
電 気 雷 管 (個)													
工 業 雷 管 (個)													
煙 火 (発)	645				167	80	398						
鋌打銃空包(個)													

危険物（完成検査済証交付）施設数及び地区別数

製造所等の別 区 分		合 計	製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所				
				屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油	一 般	第 一 種 販 売	第 二 種 販 売
平 成 2 6 年		129	2	20	13	2	30		19	2	25	15	1	
平 成 2 7 年		127	2	20	13	2	29		18	2	25	15	1	
平 成 2 8 年		122	3	23	7	2	29		15	2	25	15	1	
平 成 2 9 年		124	4	24	7	2	28		16	2	25	15	1	
平 成 3 0 年		124	4	24	7	2	28		16	2	25	15	1	
平 成 3 1 年 (令 和 元 年)		115	5	23	5	1	26		12	2	26	14	1	
令 和 2 年		116	5	23	5	1	26		12	5	24	14	1	
令 和 3 年		114	5	24	5	1	26		12	2	24	14	1	
令 和 4 年		115	5	24	5	1	26		12	2	24	15	1	
令 和 5 年		115	5	24	5	1	26		12	2	24	15	1	
令 和 6 年		112	4	23	5	1	26		13	2	23	14	1	
令 和 7 年		112	4	23	5	1	26		13	3	23	13	1	
地 区 別	大 目	5					3				2			
	甲 東	5					3				2			
	巖	18		7	1		5				1	4		
	大 鶴	4		3			1							
	島 田	7					2				2	3		
	上 野 原	50	4	9	3	1	5		10	2	9	6	1	
	桐 原	8					3		2		3			
	西 原	1		1										
	秋 山	14		3	1		4		1	1	4			

危険物施設各種事務処理状況

区分	製造所等の別	合計	製造所	貯蔵所							取扱所			
				屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	一般	第一種販売	第二種販売
合計		28	8	0			0		2	2	11	6		
設置許可		2							1	1				
変更許可		3	2								1			
完成検査		5	2						1	1	1			
完成検査済証書 完再交検付申請														
仮使用承認		3	2								1			
仮貯蔵仮取扱承認		1										1		
資料提出		8	2								4	2		
保安監督者選解任		3									2	1		
在庫管理の届出														
種類数量変更届出														
予防規定制定・変更認可		3									2	1		
廃止届出												1		

危険物施設立入検査状況

区分	製造所等の別	合計	製造所	貯蔵所							取扱所			
				屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	一般	第一種販売	第二種販売
検査施設数		1							1					
延回数		1							1					

上野原市危険物安全協会

危険物に起因する災害の未然防止、危険物の安全管理及び防火思想の普及促進
目的に設立され、現在51の事業所が加入しています。

事業の概要

1	会員相互の連絡協調に関すること。
2	危険物関係諸法令の研究に関すること。
3	危険物関係施設の改善促進に関すること。
4	危険物の貯蔵取扱等に関する調査研究及び啓発広報に関すること。
5	火災予防に関すること。
6	危険物関係施設等の視察研修に関すること。
7	関係図書の刊行及び購入配布に関すること。
8	火災予防及び消防功労者、優良施設、会員等の表彰に関すること。
9	その他本会の目的達成のため必要な事項。

危険物安全週間の啓発運動



春・秋季火災予防運動の啓発運動



施設関係

施 設 の 状 況

区 分	所在地	建物構造	建 築 面 積 延 べ 面 積	敷 地 面 積
上野原市消防本部 上野原市消防署	上野原市 松留514番地8	R C 造・S 造 2 階建	1,420.44㎡ 1,959.77㎡	11,834.51㎡
上野原市消防署 桐原出張所	上野原市 桐原10744番地1	鉄骨構造 1 階建	119.88㎡ 542.85㎡	709㎡
上野原市消防署 秋山出張所	上野原市 秋山7131番地 上野原市役所秋山支所内に併設	R C 構造 3 階建	519.07㎡ 1960.06㎡	1,208.04㎡

注：秋山出張所にあつては、上記記載の一部を占有

現 有 車 両 一 覧

(R8.4.1)

区 分	車 種	車 両 名	年 式	排 気 量	規 格
消 防 本 部 消 防 署	ポンプ車	日 野 デュトロ	H31	4,000cc	A-2
	ポンプ車	日 野 デュトロ	H26	4,000cc	A-2
	化 学 車	日 野 レンジャー	R2	5,120cc	A-2
	救助工作車	日 野 レンジャー	H29	6,400cc	Ⅱ型
	救 急 車	トヨタ ハイメディック	H27	2,690cc	高規格
	救 急 車	トヨタ ハイメディック	R5	2,690cc	高規格
	指 令 車 1	三 菱 エクリプスクロス	R7	2,350cc	
	指 令 車 2	ダイハツ ハイゼットカーゴ	H30	650cc	軽自動車
	指 揮 車	トヨタ グランビア	H17	3,370cc	高規格
	軽可搬積載車	ダイハツ ハイゼットカーゴ	H27	650cc	軽自動車
	消防団車	スバル フォレスター	H28	1,990cc	
	消防団車	日 産 キャラバン	R8	2,430cc	可搬積載車
	事務連絡車	三 菱 デリカ	R5	2,260cc	
	事務連絡車	三 菱 エクリプスクロス	R7	2,350cc	
	事務連絡車	ダイハツ ハイゼット	H25	650cc	軽自動車
	事務連絡車	ホンダ スーパーカブ	H5	50cc	
	ボート牽引車	ロードライト	H22		
桐原出張所	ポンプ車	日 野 デュトロ	H26	4,000cc	A-2
	救 急 車	トヨタ ハイメディック	H30	2,690cc	高規格
秋山出張所	ポンプ車	日 野 デュトロ	R8	4,000cc	A-2
	救 急 車	トヨタ ハイメディック	R1	2,690cc	高規格

本 署 の 消 防 装 備 一 覧

区分	品 名	数量
通信機器等	加入電話回線数	4
	専用報知電話	12
	防災行政無線局（県）	2
	消防防災無線局（市）	1
	遠隔制御装置（本部無線機）	1
	卓上無線機	1
	可搬無線機	1
	車載無線機	9
	携帯無線機	18
	ファクシミリ	2
消防資材等	化学防護服 Aタイプ	6
	化学防護服 Bタイプ	8
	化学防護服 Cタイプ	13
	個人線量計	7
	表面汚染線量計	3
	防毒マスク	9
	マルチガスモニター	4
	空気呼吸器	14
	空気ボンベ（予備）	41
	消防用ホース（65 mm）	100
	消防用ホース（50 mm）	150
	消防用ホース（40 mm）	5
	消防用ホース（25 mm）	10
	ホースバッグ	12
	ホースカー	2
	ジェットシューター	34
	ホースブリッジ	12
	林野火災用多口放水システム	1
	可搬ポンプ	1
	発電機	7
	投光器	4
	送風機	1
	非接触温度計	2
	絶縁抵抗計	1
	G P S	3
	風向風速計	1
救急資材	ベッドサイドモニター	2
	A E D	3
	自動心臓マッサージ器	2
	携帯吸引器	4
	バックボード	3
	スクープストレッチャー	3
	シュミレーション訓練用人形	2
	訓練用人形（大人）	9
	訓練用人形（小児）	5
材	訓練用人形（乳児）	4
	訓練用 A E D	6

区分	品 名	数量
救	緩降機	1
	耐電手袋	8
	ハンマードリル	1
	ハンマー	4
	鉄線カッター	4
	防毒マスク	9
	伸縮梯子（3連）	4
	かぎ付きはしご	4
	ワイヤー梯子	1
	レシプロソー	1
助	エンジンカッター	4
	ガソリン溶断機	1
	チェーンソー	3
	チャップス（保護具）	3
	救命索発射銃	2
	油圧式救助器具一式	1
	充電式油圧救助器具一式	1
	マット型空気ジャッキ一式	1
	送排風機	1
	安全ベルト	12
資	滑車	7
	救助用ロープ（50 m）	6
	救助用ロープ（30 m）	5
	小綱	25
	張力計	1
	救助用ボート（アルミ・ゴム）	3
	船外機	2
	救命胴衣	21
	救命浮輪	6
	ウェットスーツ	10
材	スローバック	10
	水難救助用ロープ（50 m）	3
	チルホル	4
	山岳救助器具一式	1
	タイタン	1
	フルボディハーネス	15
	サバイバースリング	1
	キャリングラック	1
	ピタゴール	1
	ウェーダー	6
等	耐熱服	2

梶原出張所の消防装備一覧

区分	品名	数量
通信施設等	加入電話回線数(ファクシミリ)	1
	本庁一斉指令受信装置	1
	卓上無線機	1
	車載無線機	2
	携帯無線機	3
	携帯電話	1
	非常電源(発電設備)	1
	非常電源(発電機)	1
照明	シリンダー式LEDライト	1
	LED ハンドライト	4
消防資材等	空気呼吸器	3
	消防用ホース(50mm)	35
	消防用ホース(65mm)	10
	ホースカー	1
	ホースバンド	11
	ホースブリッジ	4
	ジェットシューター	5
	ラインプロポーショナー	1
	単口引上式スタンドパイプ	1
	二股分岐	2
	ディスクストレナー	1
	空気ボンベ(29.4Mpa)	3
	小型ポンプ	1
	オートマチックノズル	2
	熱探知機	1
	折りたたみ式かぎ付梯子	1
	ホース巻機	1
	ホース洗浄機	1
救助資材等	救助用ロープ(50m)	1
	小綱	5
	チェンソー	2
	エンジンカッター	2
	車両破壊器具一式	2
	カラビナ	10
	チャップス	1
	救命胴衣(PFD)	3

区分	品名	数量
山岳救助	スタティックロープ(50m)	3
	ハーネス	3
	シングルプーリー	5
	ダブルプーリー	2
	エイト環	3
	D型カラビナ	17
	プルージックコード	12
	ウェビング	5
	スリング	6
	リギングプレート	2
資材	チェーンレクター、デ이지ーチェーン	各3
	山岳用ヘルメット	1
	スカラベ、スイベル	各1
	アイディーS(セルフブレーキ降下器具)	1
	アサップロック	1
救助急用資材	モニター付AED	1
	心電図モニター	1
	自動式心臓マッサージ器	1
	自動式人工呼吸器	2
	電動吸引器	2
	バックバルブマスク	5
	硬性喉頭鏡・ビデオ喉頭鏡	各1
	全脊柱固定器具一式	2
	頸椎固定器具	5
	メインストレッチャー	1
	サブストレッチャー	1
	エアーストレッチャー	1
その他	陰圧式固定ギプス	1
	上半身用脊柱固定器具	1
	血糖測定器	1
	布担架	1
	座位搬送資機材	1
その他	ハンディーGPS	1
	消火器	1
	防刃ベスト	2
その他	有毒ガス検知器	1

秋山出張所の消防装備一覧

区分	品 名	数量
通信施設等	加入電話回線数(ファクシミリ)	1
	本庁一斉指令受信装置	1
	卓上無線機	1
	車載無線機	2
	携帯無線機	3
	携帯電話	1
	非常電源(発電設備)	1
	非常電源(発電機)	1
照明	シリンダー式LEDライト	1
	LED ハンドライト	2
消防資機材等	空気呼吸器	3
	消防用ホース(50mm)	22
	消防用ホース(65mm)	21
	電動アシストホースカー	1
	ホースバンド	6
	ホースブリッジ	2
	ジェットシューター	3
	吸管用ツイスター	1
	単口引上式スタンドパイプ	1
	二股分岐	2
	オートマチックノズル	1
	予備吸管	5
	三連梯子	1
	充電式タワーライト	1
	FLIR熱画像直視装置	1
	ハリガンレガシー	1
	アックス	1
救助資機材等	救助用ロープ(50m)	1
	小綱	6
	チェンソー	1
	エンジンカッター	1
	破壊器具一式	1
	カラビナ	6
	チャップス	1
救助資機材等	救命胴衣(PFD)	3

区分	品 名	数量
山岳救助資機材	スタティックロープ(50m)	3
	ハーネス	3
	シングルのプーリー	4
	ダブルプーリー	2
	エイト環	3
	D型カラビナ	21
	プルーチックコード	10
	ウェビング	5
	スリング	20
	リギングプレート	1
	チェーンレクター、デジチェーン	各1
	山岳用ヘルメット	1
	スカラベ、スイベル	各1
	アイディーS(セルフブレーキ降下器具)	1
救急用資機材等	アサップロック	1
	モニター付 AED	1
	心電図モニター	1
	自動式心臓マッサージ器	1
	自動式人工呼吸器	1
	電動吸引器	1
	バックバルブマスク	2
	硬性喉頭鏡・ビデオ喉頭鏡	各1
	全脊柱固定器具一式	2
	頸椎固定器具	4
	メインストレッチャー	1
	サブストレッチャー	1
	エアーストレッチャー	1
	陰圧式固定ギプス	0
その他	上半身用脊柱固定器具	0
	血糖測定器	1
	布担架	1
	座位搬送資機材	1
	ハンディーGPS	1
	消火器	4
	防刃ベスト	3
その他	有毒ガス検知器	1

消 防 水 利 の 状 況

地 区	分団名	部名	現有防火水槽 (m ²)				消火栓
			39 以下	40-59	60-99	100 以上	
犬目・恋塚・矢坪・新田 談合坂	大目	第一部一班	1	10	3	2	28
日留野・大田・大沢 谷後		第一部二班	1	4	2		16
東大野・西大野・日向 花坂		第二部一班	1	4	7		10
南米沢・高橋		第二部二班	1	4	2	1	5
小 計			4	22	14	3	59
野田尻・棚頭	甲東	第一部一班		12	2		23
荻野		第一部二班		4	1		27
和見・芦垣		第二部	4	4	3		6
東区（平呂）・瀬淵		第三部一班		5	2		6
西区（中風呂）		第三部二班		10	1		16
小 計			4	35	9	0	78
八ッ沢・西東京工業団地 仲山	巖	第一部	1	10	5		36
松留		第二部		6	2		12
牧野・当月・栃穴・杖突 千足		第三部		10	3		13
奥平・久保・仲居・コモア しおつ		第四部		16	3		36
川合		第五部	2	3	1		11
小 計			3	45	14	0	108
大倉・大曾根・小倉	大鶴	第一部一班		11	4		15
鶴川・上野山		第一部二班	1	7	2		5
日野・大櫓		第一部三班		11	1		9
小 計			1	29	7	0	29

地 区	分団名	部名	現有防火水槽 (㎡)				消火栓
			39 以下	40-59	60-99	100 以上	
上新田・中新田・下新田	島田	第一部	2	8	4		25
鶴島		第二部		14	8	1	28
田野入		第三部		5	2		17
小 計			2	27	14	1	70
諏訪・塚場・新町	上野原	第一部	3	17	2	4	50
原・新田倉・田町・本町		第二部		4	4	5	43
羽佐間・小沢・西シ原 新井・山風呂・向風		第三部	3	6	4	3	28
八米		第四部		1	1	1	2
先祖・丸畑・奈須部 工業団地		第五部	2	9	2		21
小 計			8	37	13	13	144
尾続・登下	桐原	第一部一班		8	1		6
用竹・今野・墓村		第一部二班	3	10	2		14
井戸・黒田		第二部一班	3	2	2		12
小伏		第二部二班	3	3	1		
椿・猪丸・日原		第三部		20	3	1	16
大垣外		第四部一班		6	1		6
沢渡・芦瀬・坂本・梅久保 小桐		第四部二班	1	8	5		
小 計			10	57	15	1	54
藤尾・初戸・六藤	西原	第一部一班		3	2		15
扁盃・田和・上平・下城 川通		第一部二班	3	11	5		19
郷原・原・飯尾		第二部		14	5		28
小 計			3	28	12	0	62

地 区	分団名	部名	現有防火水槽（㎡）				消火栓
			39 以下	40-59	60-99	100 以上	
無生野・浜沢	秋 山 分 団	第一部一班		8			19
原		第一部二班		3			5
尾崎・寺下・板崎		第二部		11			28
大地・遠所・栗谷・中野		第三部		11		2	29
神野・小和田		第四部一班		8			19
古福志・桜井・金山		第四部二班		11	1		25
富岡		第五部一班		5			21
一古沢・安寺沢		第五部二班		2			15
小 計			0	59	1	2	161
合 計			35	339	99	20	765

警防關係

年 別 火 災 状 況

区 分		年 別	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
火災件数	建物		5	1	5	6	4
	林野		1	1	0	1	0
	車両		3	3	2	1	1
	その他		2	6	2	7	4
	合 計		11	11	9	15	9
焼損棟数	前 年 比		11	0	△ 2	6	△ 6
	全 焼		1	0	0	2	4
	半 焼		1	1	0	0	0
	部分焼		2	0	1	3	1
	ぼ や		1	0	4	3	2
焼 損 棟 数	合 計		5	1	5	8	7
	前 年 比		5	△ 4	4	3	△ 1
焼 損 面 積	建物床面積(㎡)		829	119	5	140	272
	前 年 比		829	△ 710	△ 114	135	132
	林野(a)		28	2	0	696	1
	前 年 比		28	△ 26	△ 2	696	△ 695
	死 者		0	0	0	1	1
死 傷 負	傷 者		1	1	0	1	2
	損 害 額 (千円)		52,264	18,145	5,427	17,889	5,007
	損 害 額 前 年 比		52,264	△ 34,119	△ 12,718	12,462	△ 12,882

月 別 火 災 状 況 総 括

区 分 月 別	出 火 件 数				焼 損 棟 数	り 災 世 帯	焼 損 面 積				死 者	負 傷 者	損 害 額 (千円)						
	計	建物	林野	車両			その他	建物 (㎡)		林野 (a)			車両 (台)	その他 (㎡)	計	建物	林 野	車 両	その他
								床面積	表面積										
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
2	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0		
3	1	1	0	0	0	4	1	272	0	1	0	1	4,909	4,909	0	0	0		
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
7	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	98	98	0	0	0		
8	3	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	63	0	0	63	0		
9	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
12	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計	9	4	0	1	4	7	2	272	0	1	0	1	5,070	5,007	0	63	0		

建物火災件数

項目 月別	件数	損害額 (千円)				焼損棟数								り災世帯数				り災者数	焼損面積 (㎡・四捨五人)				
		計	建物	収容物	その他	計	全	半	部	ぼ	火元棟	全	半	部	ぼ	延焼棟	計		全損	半損	小損	床	表
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3	1	4,909	4,728	41	140	1	1	0	0	0	3	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	272	0
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
7	1	98	0	98	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	
8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
9	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
12	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	4	5,007	4,728	139	140	4	1	0	1	2	3	0	0	0	0	2	1	0	1	3	272	0	

火 災 覚 知 別 出 火 件 数

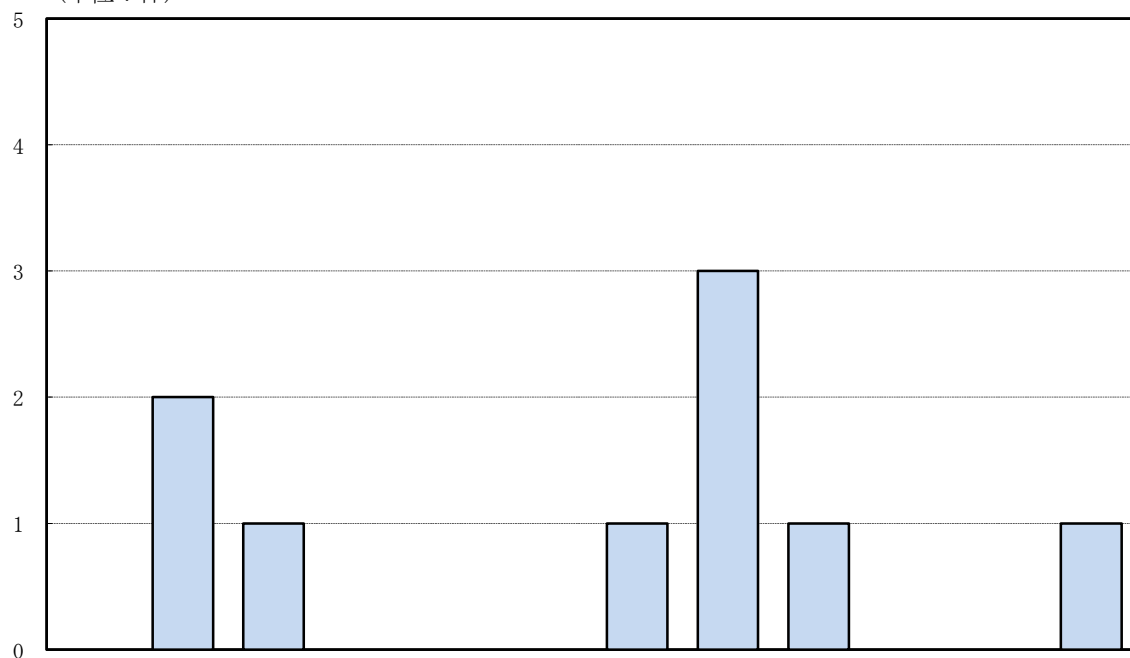
火災種別 覚 知 別	合 計	建 物	林 野	車 両	その他	管外出場 誤 報 等
火 災 報 知 専 用 電 話 (固 定 電 話 か ら)	1	1				
火 災 報 知 専 用 電 話 (携 帯 電 話 か ら)	3	1		1	1	
加 入 電 話 (固 定 電 話 か ら)	1				1	
加 入 電 話 (携 帯 電 話 か ら)	0					
警 察 電 話	0					
駆 け 付 け 通 報	0					
事 後 聞 知	3	2			1	
そ の 他	1				1	
合 計	9	4	0	1	4	0

発 火 源 別 出 火 件 数

原 因	件数	原 因	件数	原 因	件数
た ば こ		煙 突		金 属 と 切 断 機 の 花 衝 撃 断 火	
こ ん ろ		排 気 管		ロ ー ソ ク	
ガ ス テ ー ブ ル		ブレーキライニング		車 両 と 路 面 と の 火 花	1
空 気 圧 縮 機 (コ ン プ レ ッ サ ー)		モ ー タ ー		枯 れ 草 焼 き	
風 呂 か ま ど		配 電 線 (高 圧)	1	火 の つ い た ゴ ミ	
炉		落 雷		放 火	
焼 却 炉	2	内 燃 機 関		放 火 の 疑 い	
火 の つ い た 紙		火 あ そ び		そ の 他	1
炊 飯 器		ラ イ タ ー		不 明	4
そ の 他 の 高 温 の 固 体		た き 火		合 計	9

月 別 火 災 件 数

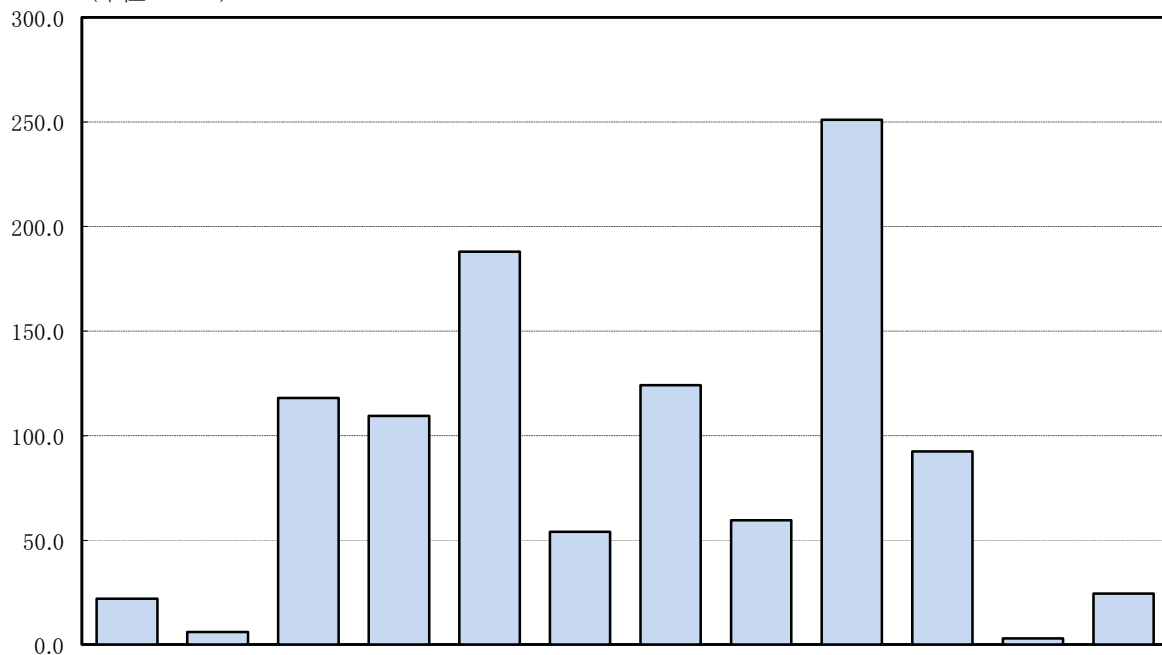
(単位：件)



月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災件数	0	2	1	0	0	0	1	3	1	0	0	1	9

月 別 降 水 量

(単位：mm)

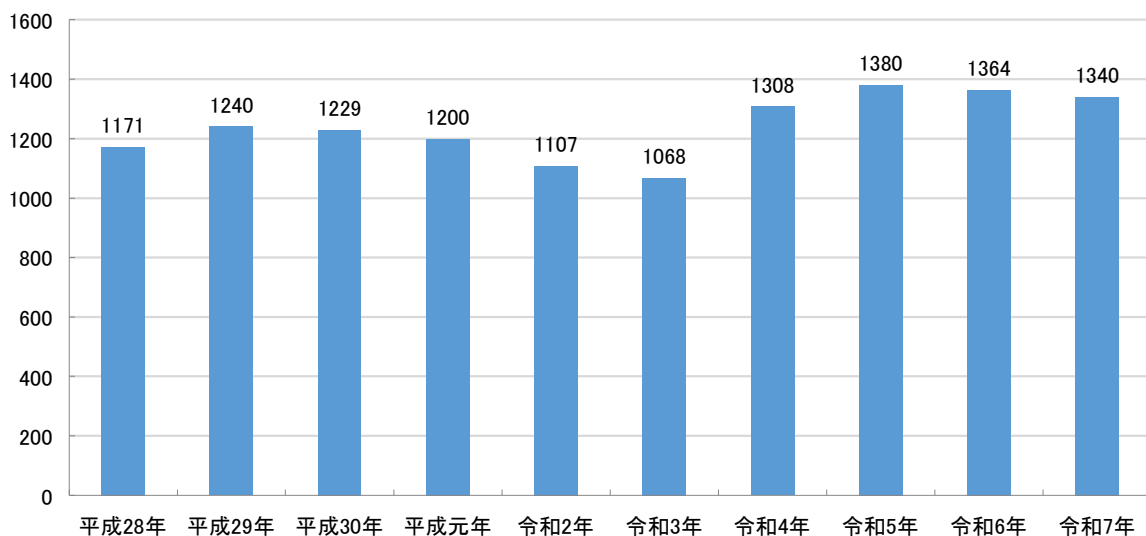


月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
降水量	22.0	6.0	118.0	109.5	188.0	54.0	124.0	59.5	251.0	92.5	3.0	24.5	1052.0

救急業務

①救急出場件数の推移 10年分

令和7年の救急出場件数は、1,340件(前年より24件減少)でした。



種別 年	合計	救 急 事 故 種 別													
		火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他
平成28年	1171	2			119	14	16	205	4	7	719	84	1		
平成29年	1240	2			128	17	16	212	4	12	752	94	2		1
平成30年	1229	2		1	102	25	16	227	1	8	763	83			1
令和元年	1200				102	13	13	194	4	9	786	78	1		
令和2年	1107	1		2	81	9	6	189	5	8	733	73			
令和3年	1068			4	93	10	7	159	2	8	695	89			1
令和4年	1308			3	86	9	3	224	3	11	863	101	3		2
令和5年	1380			3	99	12	5	235	3	11	896	114	1		1
令和6年	1364	1		3	92	13	9	230	2	11	881	119	2		1
令和7年	1340	1			68	11	5	231	3	8	893	118			2

火災：火災に起因して生じた事故

自然災害：自然現象に起因する災害事故

水難事故：水泳中(運動競技によるものは除く)の溺者又は水中転落事故

交通事故：全ての交通機関相互及び単独の事故若しくは歩行者が交通機関に接触等をした事故

労働災害：就労中に発生した事故

運動競技：運動競技中に発生した事故

一般負傷：他に分類されない不慮の事故

加害：故意に他人によって傷害等を加えられた事故

自損行為：故意に自分自身に傷害を加えた事故

急病：疾病によるもので、救急業務として行ったもの

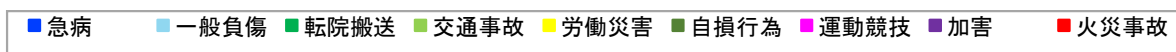
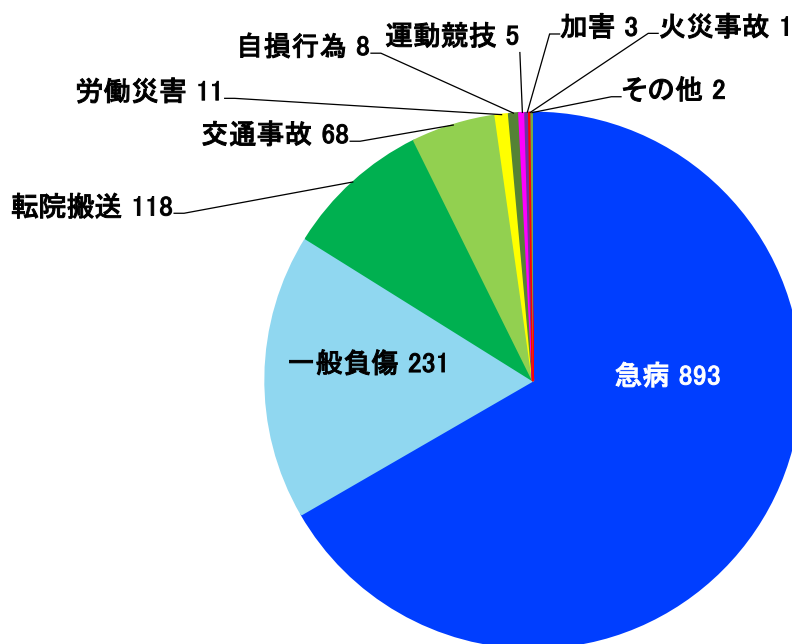
その他：転院搬送、医師・看護師搬送、医療資器材搬送、その他

署所別月別救急出動件数

事故種別 署所別		出 動 件 数	搬 送 人 員	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他	不 搬 送 件 数
1 月	本 署	120	114				1			18		3	89	9				6
	欄原出張所	4	4										3	1				
	秋山出張所	6	5							1			3	2				1
2 月	本 署	86	83	1			2	1		16			59	7				3
	欄原出張所	8	8							1			4	3				
	秋山出張所	2	1										1	1				1
3 月	本 署	94	90				2		2	18			64	8				4
	欄原出張所	5	5							1			2	2				
	秋山出張所	2	2							1			1					
4 月	木 署	98	93				4			19	1		65	8			1	4
	欄原出張所	1	1										1					
	秋山出張所	0																
5 月	本 署	99	95				11		1	19		1	58	8			1	4
	欄原出張所	2	2										2					
	秋山出張所	2	2				2											1
6 月	本 署	111	107				8	1		16	1	1	76	8				6
	欄原出張所	1	1										1					
	秋山出張所	0																
7 月	本 署	102	101				6	1	1	11		1	78	4				1
	欄原出張所	1	1										1					
	秋山出張所	2	2										1	1				
8 月	木 署	90	85				7	2		17	1	1	56	6				5
	欄原出張所	3	3							3								
	秋山出張所	3	3										1	2				
9 月	本 署	122	117				5			25		1	81	10				5
	欄原出張所	2	2										2					
	秋山出張所	3	3							1			2					
10 月	本 署	106	98				3	2	1	18			67	15				8
	欄原出張所	4	4										4					
	秋山出張所	0																
11 月	本 署	108	89				12	2		19			68	7				19
	欄原出張所	4	4							1			1	2				
	秋山出張所	0																
12 月	木 署	144	134				5	2		25			98	14				10
	欄原出張所	4	4							1			3					
	秋山出張所	1	1										1					
小計	本 署	1,280	1,206	1	0	0	66	11	5	221	3	8	859	104	0	0	2	75
	欄原出張所	39	39	0	0	0	0	0	0	7	0	0	24	8	0	0	0	0
	秋山出張所	21	19	0	0	0	2	0	0	3	0	0	10	6	0	0	0	3
合計		1,340	1,264	1	0	0	68	11	5	231	3	8	893	118	0	0	2	78

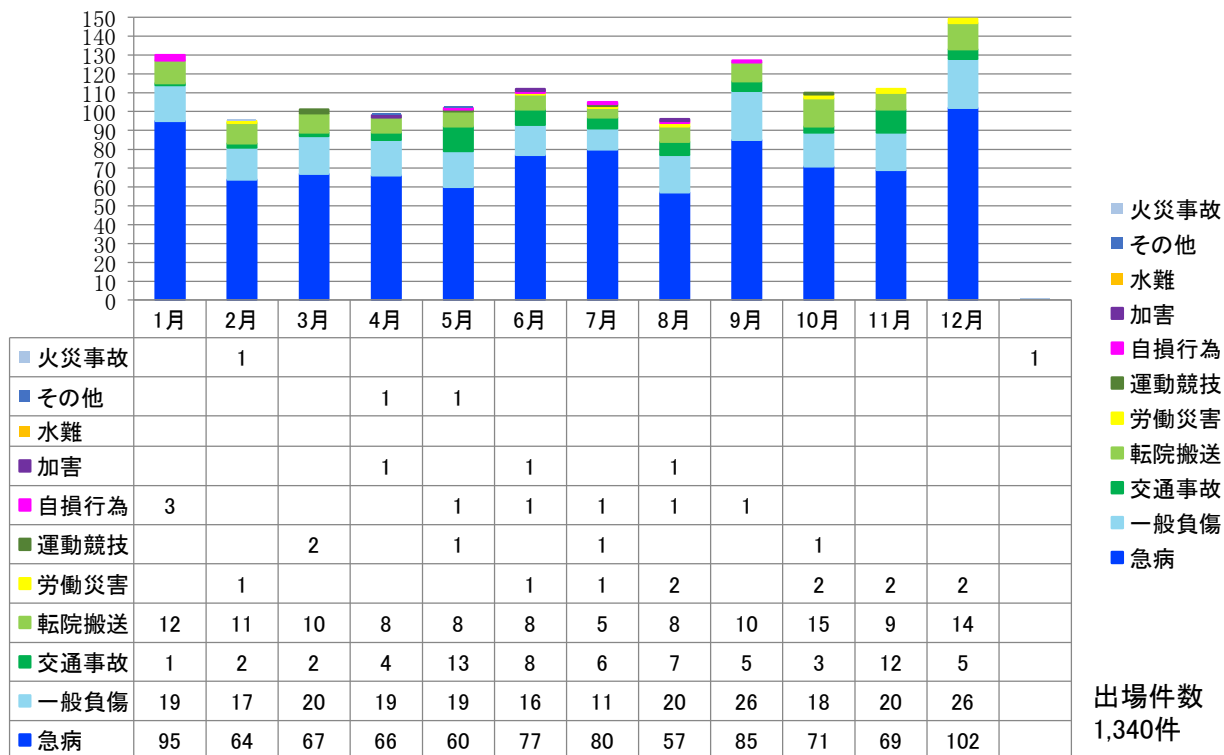
② 救急出場区分内訳

救急出場の種別の内訳を円グラフで示したのになります。



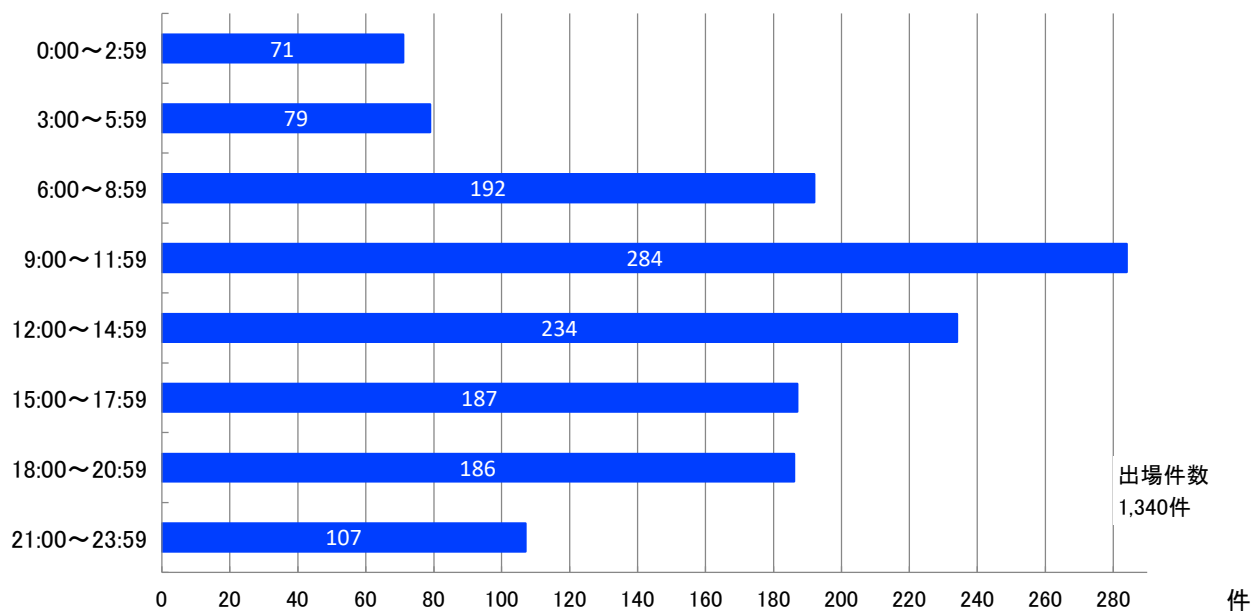
③ 月別救急出場件数

月別の出場状況を棒グラフで示したのになります。



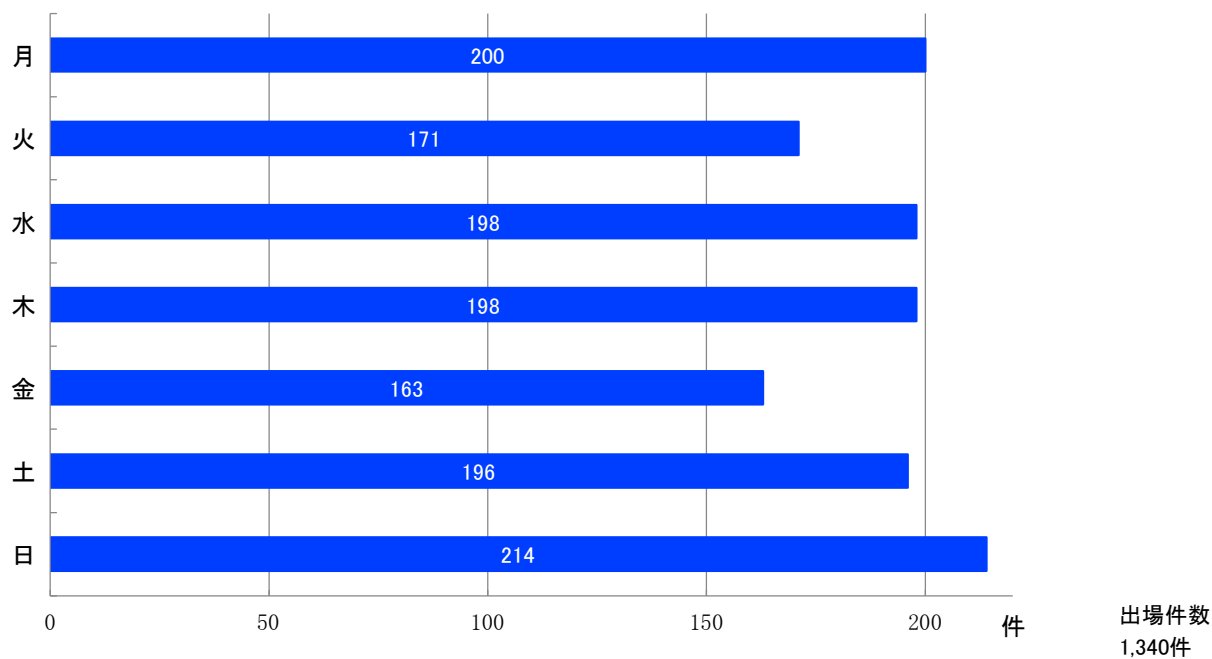
④ 時間別救急出場状況

時間別の救急要請件数を棒グラフで示したのになります。



⑤ 曜日別救急出場状況

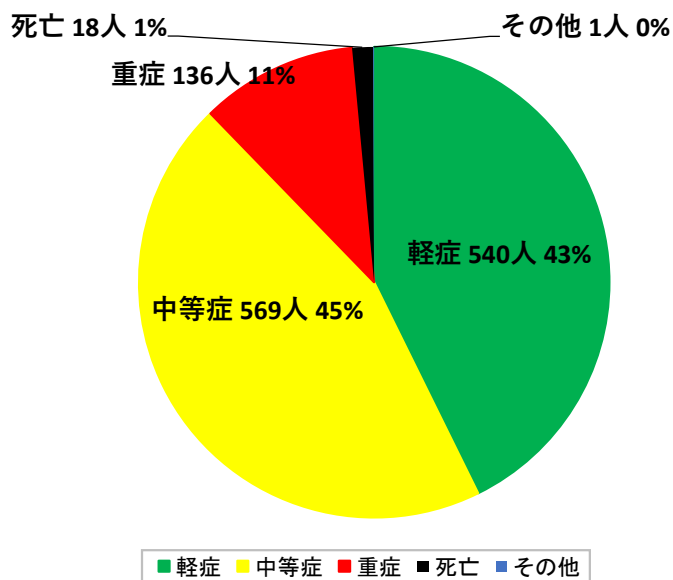
曜日別の救急要請件数を棒グラフで示したのになります。



※2…火災、水難、労働災害、運動競技、加害、自損行為、転院搬送、その他を含んだもの

⑥ 救急搬送者の傷病程度割合

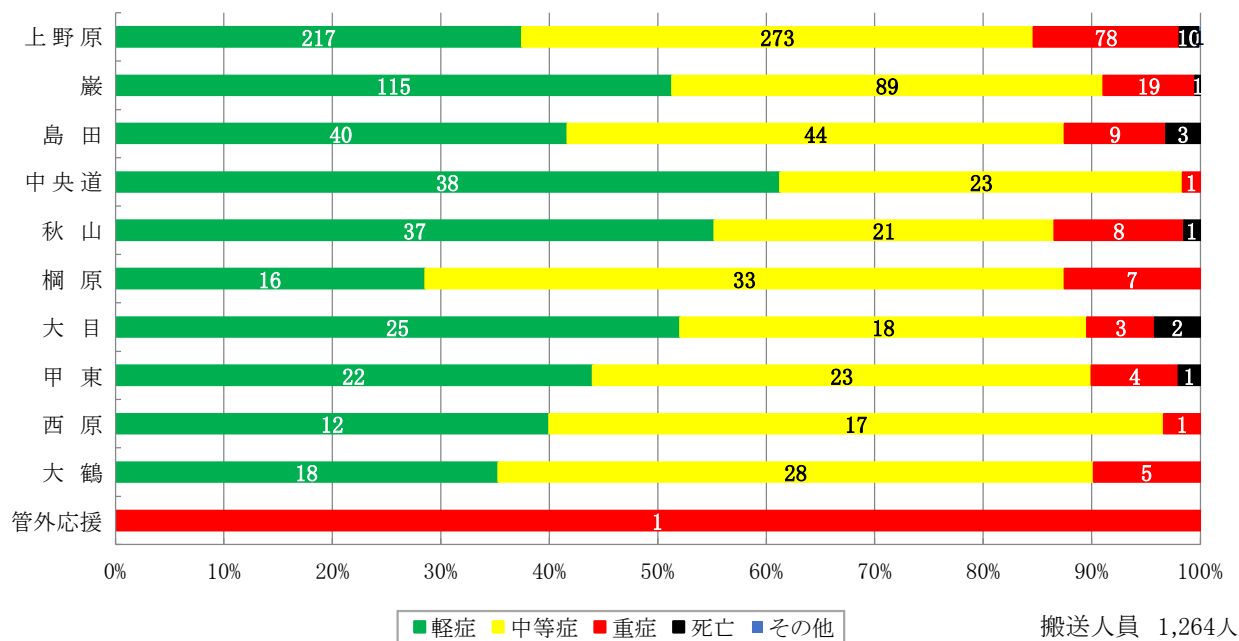
軽症、中等症、重症、死亡の割合を円グラフにしたものになります。



※死亡・・・初診時において死亡が確認されたもの
 重症・・・傷病の程度が3週間以上の入院を必要とするもの
 中等症・・・傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの
 軽症・・・傷病の程度が入院加療を必要としないもの
 その他・・・病院搬送後に受診を拒否したもの

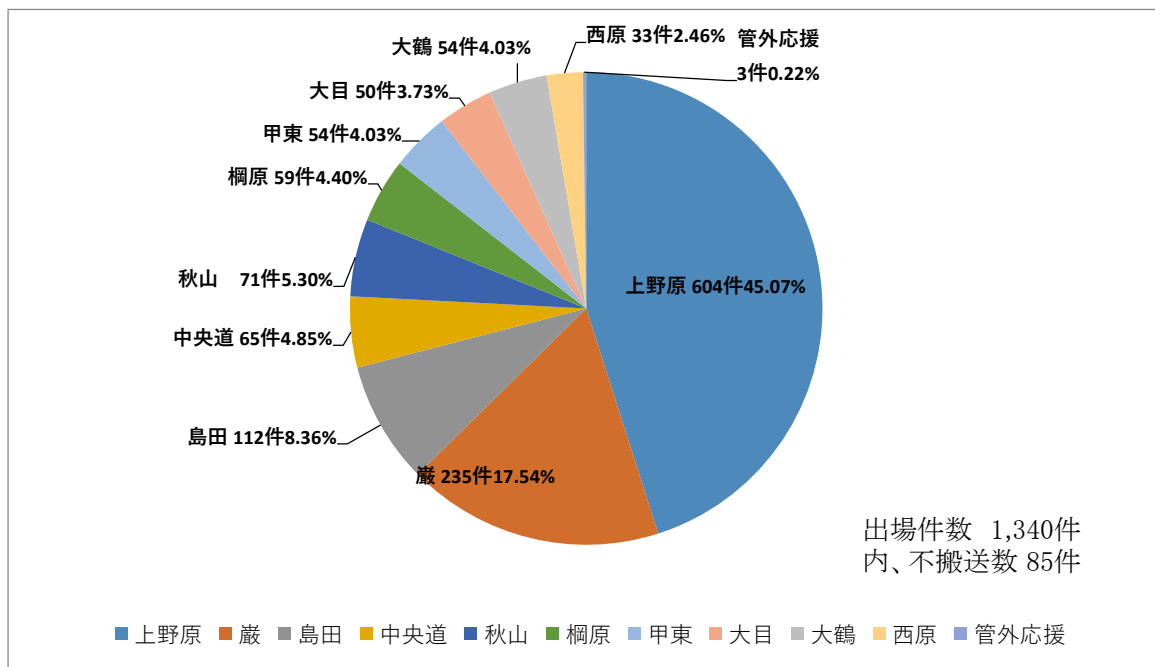
⑦ 地区ごとの搬送

各地区ごとの傷病程度の割合を比で表したものになります。



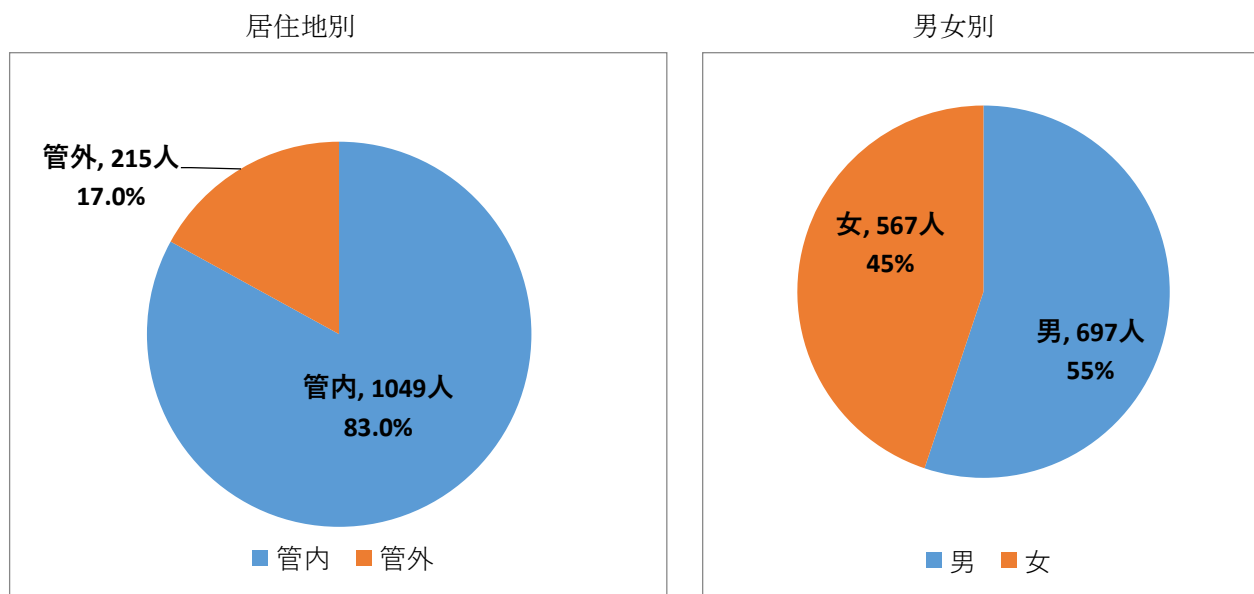
⑧地区別救急出場状況

地区別及び中央道の出場割合を円グラフで示したのになります。



⑨居住地別、男女別救急搬送状況

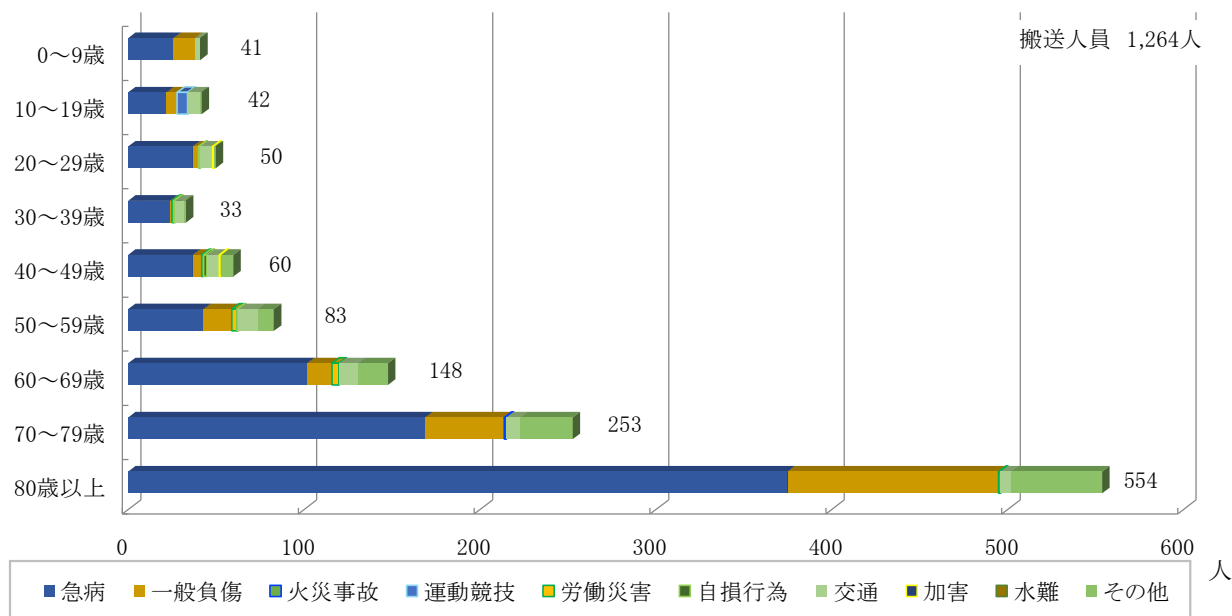
居住地別及び男女別の搬送割合を円グラフで示したのになります。



搬送人員 1,264人

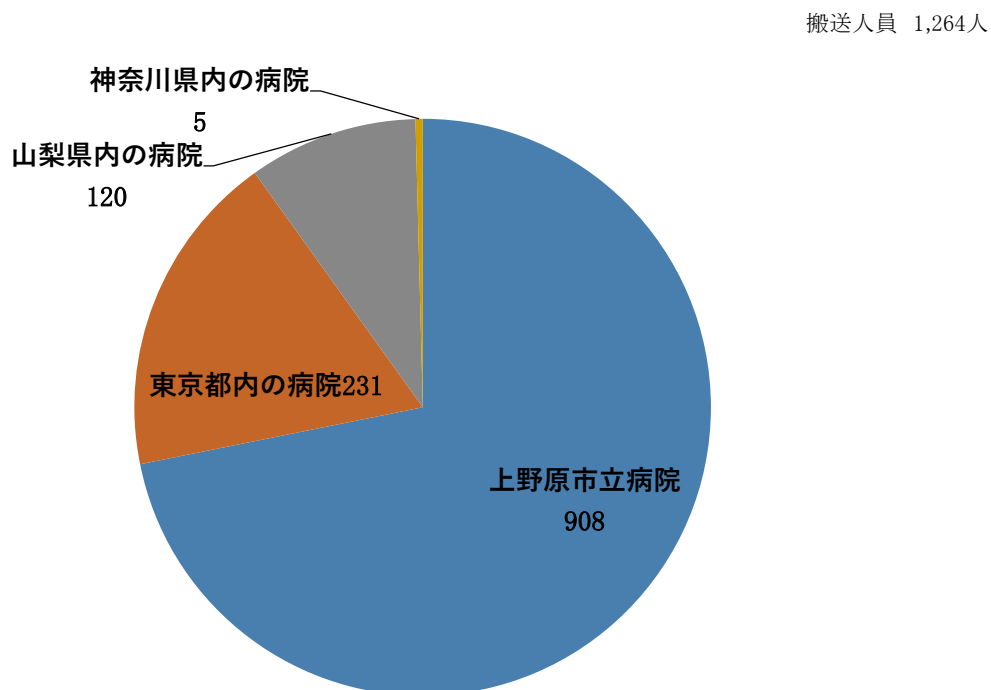
⑩ 年齢別搬送状況

年齢別搬送状況を棒グラフで示したのになります。



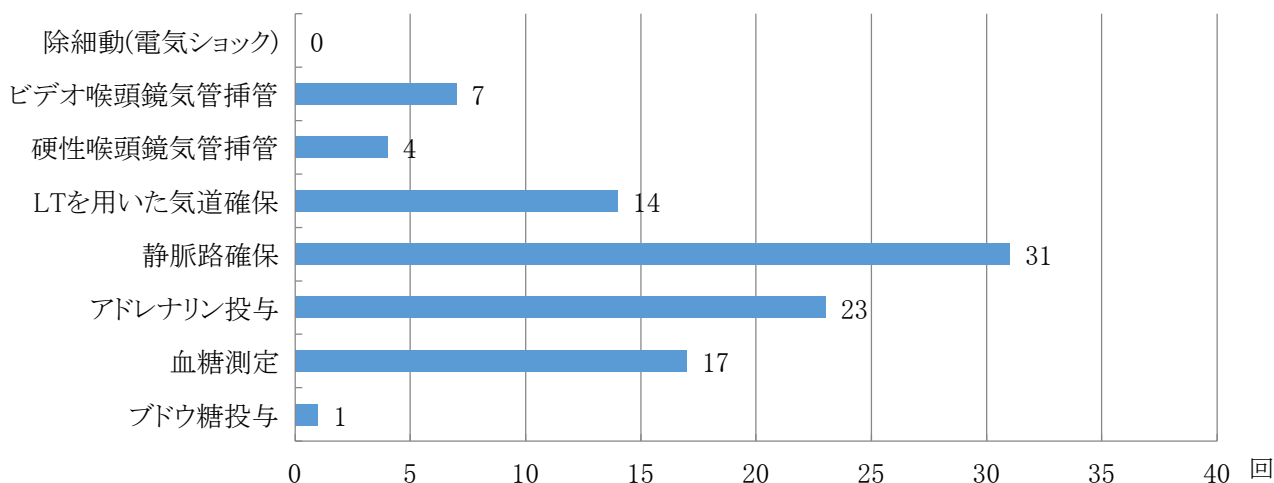
⑪ 医療機関別収容状況

救急搬送を行った病院の件数を棒グラフで示したのになります。



⑫ 救急救命士が実施した処置数

救急出場した救急救命士が下記の処置が必要だと判断した場合、医師の指示のもと、処置を実施する場合があります。令和7年中に実施した処置の数をグラフで示します。



※ 除細動…ポンプ機能を失った心臓に対し、自動体外式除細動器を用い電気ショックを与え心室細動を取り除く行為
除細動(電気ショック)は、AEDの指示に従って市民の方も実施できる行為です

※ ビデオ挿管…医師の指示のもとエアウェイスコープという器具を用い、モニターを見ながら、気管内に気道確保の為にチューブを入れる行為

※ 硬性喉頭鏡挿管…医師の指示のもと喉頭鏡という器具を用い、気管内に気道確保の為に、チューブを入れる行為

※ LT…医師の指示のもと、左記の器具を下咽頭に入れ、気道確保をするもの

※ 静脈路確保…医師の指示のもと、心肺停止患者及びショックの患者に対し、前者は薬剤投与、後者はショックからの離脱のため留置針を用い点滴を行う行為

※ アドレナリン投与…医師の指示のもと、静脈路確保ができていない心肺停止患者に対し、強心剤を投与する行為

※ 血糖測定…低血糖が疑われる患者に対し、少量の血液を取り、血糖値を測定する行為

※ ブドウ糖投与…血糖値が低値であった患者に対し、医師の指示のもとブドウ糖溶液を投与する行為



⑬中央道救急出場分類

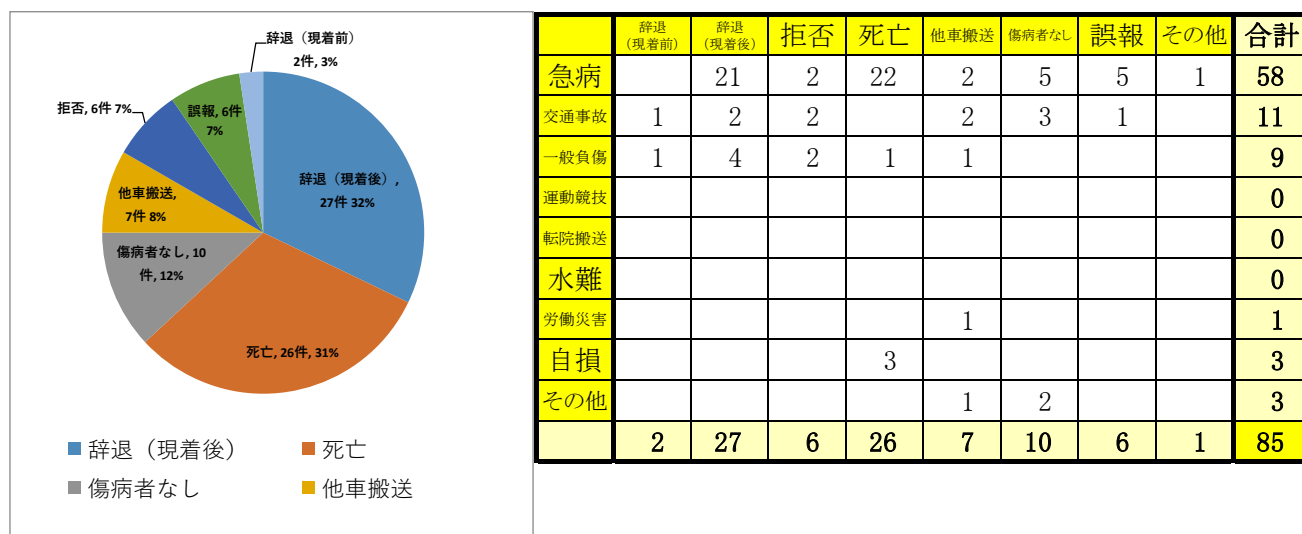
種別\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
急病	2	2	1	3	2	3	9	4	6	2	4	1	39
一般負傷			1	3	2		2	1	1	1	1		12
交通事故			1		1	2	1	2	2	1	2	2	14
火災													0
労働災害													0
自損行為													0
医師搬送													0
出場件数	2	2	3	6	5	5	12	7	9	4	7	3	65

⑭中央道救急搬送人員

種別\月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
急病	2	2	1	2	2	3	9	4	6	2	2	1	36
一般負傷			1	2	2		2	1	1	1	1		11
交通事故					1	3	1	2	6		1	1	15
火災													0
労働災害													0
搬送人員	2	2	2	4	5	6	12	7	13	3	4	2	62
不搬送			1	2		1				1	3	1	9

⑮不搬送件数内訳

令和7年中の不搬送件数は、出場1,340件の内85件でした。



救助業務

①救助出場状況

種別 区分	火災	交通事故	水難事故	建物等による事故	機械による事故	自然災害	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他	計
出場件数	0	6	0	0	0	0	0	0	10	16
活動件数	0	1	0	0	0	0	0	0	6	7
活動人員	0	6	0	0	0	0	0	0	40	46
救助人員 男性	0	1	0	0	0	0	0	0	6	7
救助人員 女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救助人員 合計		1							6	7
救助工作車	0	6	0	0	0	0	0	0	5	11
ポンプ車、化学車	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
その他の車両	0	10	0	0	0	0	0	0	23	33
出場車両 合計		16							29	45

火災:火災に起因して生じた事故

交通事故:全ての交通機関相互及び単独の事故若しくは歩行者が交通機関に接触等をした事故

水難事故:水泳中の溺者又は水中転落事故

建物等による事故:建物・門・柵・塀等建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物に挟まれる事故

機械による事故:エレベーター、プレス機械、ベルトコンベアその他の建設機械、工作機械による事故

自然災害:暴風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波、噴火、雪崩、地滑りその他異常な自然現象に起因する災害

ガス及び酸欠事故:一酸化炭素中毒その他のガス中毒事故、酸素欠乏による事故

破裂事故:火災事故以外のボイラー、ボンベ等の物理的破裂による事故

その他の事故:前にあげた事故以外の事故で、消防機関による救助を必要としたもの

消防団関係

消 防 団 員 階 級 別 定 数 と 実 員

令和8年4月1日現在

階 級 区 分	条 例 定 数	実 員	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員
令和6年度	820	758	1	2	10	20	45	219	461
令和7年度	820	755	1	2	10	20	45	216	461
令和8年度	760	662	1	2	9	18	30	154	448

分 団 別 地 域 一 覧

区分 分団名	部 数	面 積 (k m ²)	人 口 (人)	世 帯 数	行 政 区 数
大 目 分 団	2	8.86	692	385	15
甲 東 分 団	3	17.92	793	359	8
巖 分 団	5	12.88	5,221	2,435	18
大 鶴 分 団	1	4.81	788	392	8
島 田 分 団	3	8.91	1,756	868	8
上 野 原 分 団	5	8.98	8,897	4,365	39
桐 原 分 団	4	26.53	772	394	10
西 原 分 団	2	36.68	424	245	13
秋 山 分 団	5	45.00	1,261	575	18
計	30	170.57	20,604	10,018	137

ポ ン プ 配 置 状 況

ポンプ別 分団別	ポ ン プ 自 動 車	小型動力ポンプ 付 積 載 車	合 計
大 目 分 団	1	3	4
甲 東 分 団	1	4	5
巖 分 団	3	2	5
大 鶴 分 団	1	2	3
島 田 分 団	2	1	3
上 野 原 分 団	3	5	8
桐 原 分 団	1	6	7
西 原 分 団	1	2	3
秋 山 分 団	1	7	8
計	14	32	46

在職年数別消防団員の状況

令和8年4月1日現在

分団 \ 年数	小 計	5年未満	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30以上
本 団	25	4	4	2	3	4	5	3
大 目 分 団	41	2	2	3	6	5	8	15
甲 東 分 団	85	6	3	3	10	16	24	23
巖 分 団	65	5	6	11	9	9	11	14
大 鶴 分 団	34	2	5	5	7	4	5	6
島 田 分 団	56	2	7	5	10	9	10	13
上 野 原 分 団	102	13	9	13	12	17	17	21
桐 原 分 団	83	4	3	15	9	13	26	13
西 原 分 団	48	0	2	2	2	3	10	29
秋 山 分 団	123	10	12	14	14	17	21	35
合 計	662	48	53	73	82	97	137	172

年齢別・階級別消防団員の状況

令和8年4月1日現在

階級 年 齢	小 計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	年齢合計
18 歳	0								0
19 歳	0								0
20 歳	0								0
21 歳	0								0
22 歳	2							2	44
23 歳	0								0
24 歳	1							1	24
25 歳	3						1	2	75
26 歳	2							2	52
27 歳	2							2	54
28 歳	4						2	2	112
29 歳	1							1	29
30 歳	2							2	60
31 歳	8						1	7	248
32 歳	6						1	5	192
33 歳	7						4	3	231
34 歳	6						1	5	204
35 歳	12					1	4	7	420
36 歳	11						5	6	396
37 歳	12						6	6	444
38 歳	10						2	8	380
39 歳	16				1	2	6	7	624
40 歳	16					1	9	6	640
41 歳	8					1	4	3	328
42 歳	15					2	5	8	630
43 歳	18				1		9	8	774
44 歳	16						8	8	704
45 歳	20					2	8	10	900
46 歳	21					3	6	12	966
47 歳	24						11	13	1,128
48 歳	20				1	3	8	8	960
49 歳	22					2	4	16	1,078
50 歳	19					3	4	12	950
51 歳	22			1	1	1	4	15	1,122
52 歳	21			1	2	1	5	12	1,092
53 歳	23			1	1	1	2	18	1,219
54 歳	35			1	3	2	12	17	1,890
55 歳	21			2	1	2	4	12	1,155
56 歳	24				4			20	1,344
57 歳	23		1	2		1	4	15	1,311
58 歳	17						1	16	986
59 歳	24					1	5	18	1,416
60 歳	22				2	1	2	17	1,320
61 歳	17			1			2	14	1,037
62 歳	18							18	1,116
63 歳	18						4	14	1,134
64 歳	18				1		1	16	1,152
65 歳以上	55	1	1					53	3,575
合 計	662	1	2	9	18	30	155	447	33,651

一般電話・IP電話・携帯電話別

119番等受信状況

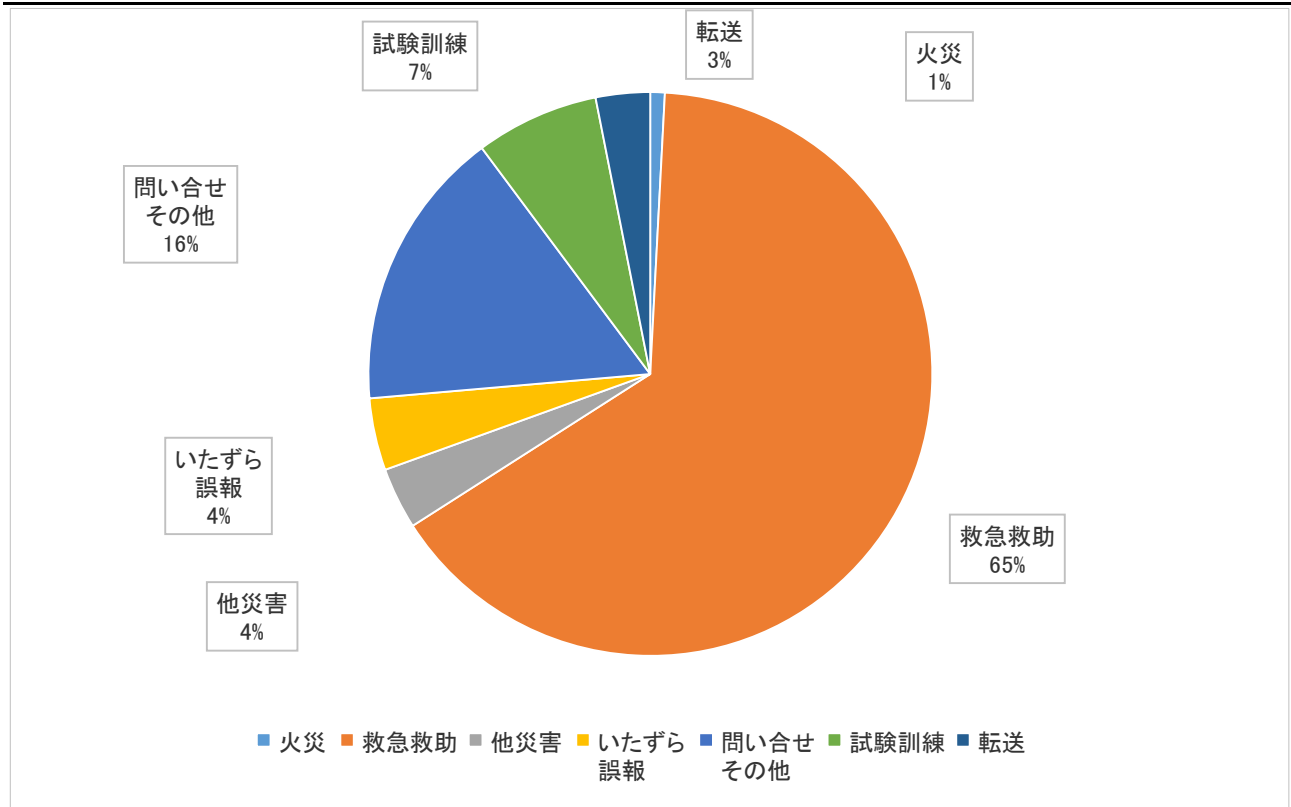
令和7年1月1日～令和7年12月31日

種別	合計	固定電話		携帯電話	その他
		一般電話	IP電話		
小計		427 20.85%	190 9.28%	1078 52.64%	353 17.24%
送受信数	2048	617		1078	353
火災	17	1	1	9	6
救急救助	1334	282	149	755	148
他災害	72	5	0	11	56
いたずら 誤報	85	11	3	68	3
問合せ その他	331	47	15	167	102
試験 訓練	145	80	22	9	34
転送	64	1	0	59	4

※その他(119番以外)の欄は、加入・専用線・駆け込み・無線等を示します。

119番等受信状況

令和7年1月1日～令和7年12月31日



	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総受信数	2048	197	174	150	151	145	172	151	151	209	178	185	185
火災	17	1	2	2	0	1	1	3	2	1	2	1	1
救急救助	1334	130	96	102	99	104	110	105	95	127	111	109	146
他災害	72	4	12	9	4	4	10	3	5	10	4	3	4
いたずら誤報	85	8	10	11	5	3	6	7	7	12	1	11	4
問い合わせその他	331	23	36	15	15	25	31	26	30	34	34	38	24
試験訓練	145	23	8	5	24	6	12	3	3	22	22	15	2
転送	64	8	10	6	4	2	2	4	9	3	4	8	4
1日平均	5.61	6.4	6.0	4.8	5.0	4.7	5.7	4.9	4.9	7.0	5.7	6.2	6.0

令和 7 年版 消防年報

令和 8 年 8 月 発行

上野原市消防本部 ・ 消防署

〒409-0115 山梨県上野原市松留5 1 4 番地 8

TEL 0554-62-4112 (消防本部)

TEL 0554-62-4671 (消防本部：予防担当)

TEL 0554-62-4111 (消防署)

FAX 0554-63-4119 (消防本部)

FAX 0554-62-5119 (消防署・夜間)

e-mail

shobo-shomu@city.uenohara.lg.jp